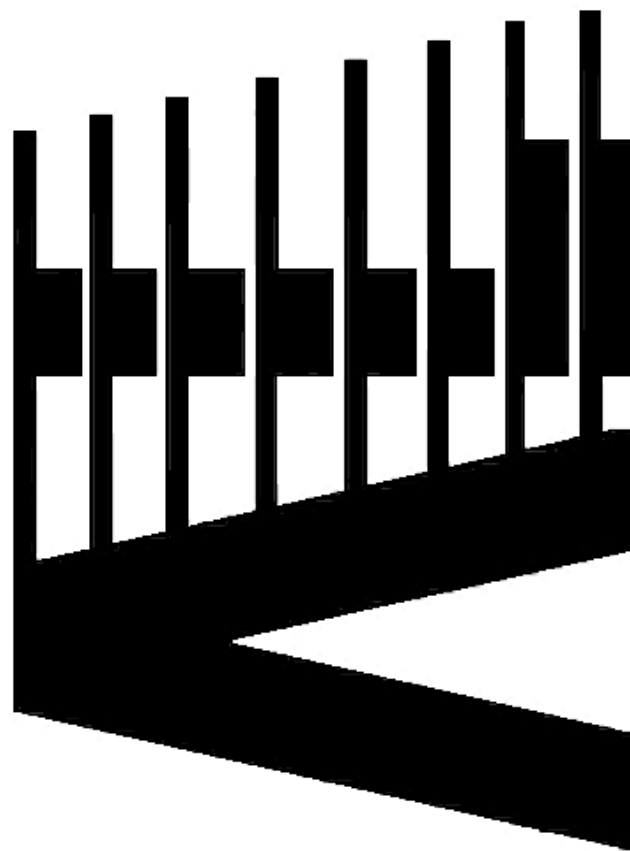
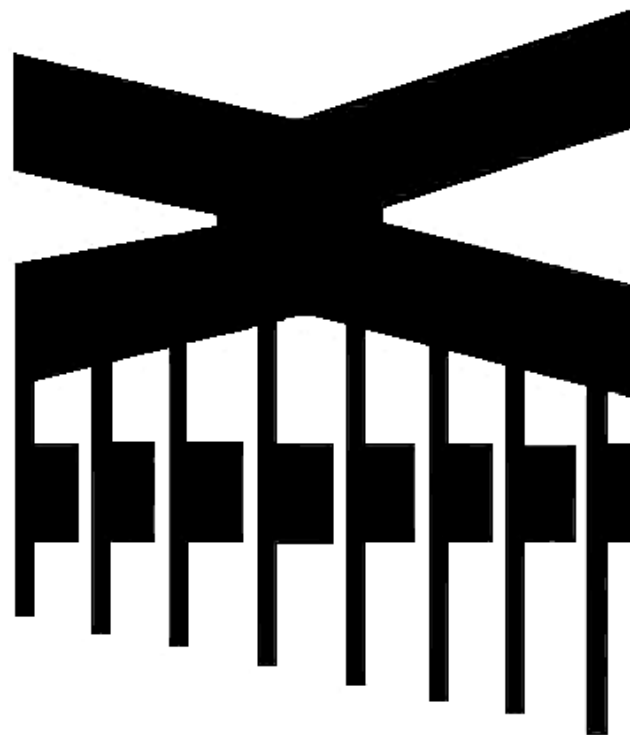


“ アルビクス ” マルチビューワ MV-550

設定ソフト
取扱説明書

Rev.0 4



目 次

	ページ
1. 設定ソフトのインストール手順	3
2. MV-550 各種用語説明	4
3. 設定ソフト機能概要	6
4. 設定手順	7
4.1 構成設定	9
4.2 構成設定方法	10
4.2.1 基板設定方法	11
4.2.2 出力モニタ設定方法	11
4.2.3 各画面の子画面数設定方法	12
4.3 入力チャンネル名称・ロゴ設定	13
4.4 レイアウト・入力 MTX 設定	14
4.5 詳細設定	16
4.6 コメントパターン設定	17
4.7 入力コメントウィンドウ設定	18
4.8 出力コメントウィンドウ設定	20
4.9 プリセット登録	22
5. MV-550 の同期方法	23
5.1 MV-550 オンライン時における設定の同期方法	23
5.2 MV-550 オフライン時における設定の同期方法	24
6. MV-550 設定内部時刻設定	25
6.1 MV-550 時刻設定方法	25
7. 動作レイアウト切替/レイアウトコピー	26
7.1 画面単位の動作レイアウト切替方法	26
7.2 プリセットによる動作レイアウト一括切替方法	27
7.3 任意の設定による動作レイアウト切替方法	28
7.4 レイアウトのコピー	29
8. 入力 MTX の一括設定	31
8.1 入力 MTX の一括設定方法	31
9. レイアウト情報のエクスポート・インポート	32
9.1 レイアウト情報のエクスポート/インポート	32
9.1.1 レイアウト情報のエクスポート方法	32
9.1.2 レイアウト情報のインポート方法	34
9.2 コメントパターン エクスポート/インポート	35
9.2.1 コメントパターン エクスポート方法	35

9.2.2	コメントパターン インポート方法	35
9.3	入力コメントウィンドウ エクスポート/インポート	36
9.3.1	入力コメントウィンドウ エクスポート方法	36
9.3.2	入力コメントウィンドウ インポート方法	36
9.4	出力コメントウィンドウ エクスポート/インポート	37
9.4.1	出力コメントウィンドウ エクスポート方法	37
9.4.2	出力コメントウィンドウ インポート方法	37
10.	設定ウィザード	38
10.1	設定ウィザード起動方法	38
11.	MV-550 機器状態確認	39
11.1	MV-550 機器状態確認方法	39
11.2	MV-550 バージョン情報取得方法	40
12.	データ構造について	41
13.	出荷時設定について	42
14.	入力コメントウィンドウの設定例	44
15.	エクスポートファイルの詳細	49

1. 設定ソフトのインストール手順

下記手順により設定ソフトのインストールする方法を示します。

- 手順1. インストーラーを起動させることで、設定ソフトのセットアップウィザードが起動します。メッセージに沿って、インストールの設定を行ってください。
- 手順2. 本体数設定で、P Cから設定する本体数を設定します。
設定した本体数分の設定ソフトがインストールされます。
- 手順3. インストールフォルダを指定します。
- 手順4. インストールが完了するまで待ちます。



2. MV-550各種用語説明

設定ソフトの取り扱い説明にあたり、MV-550 で使用される用語の説明を記載します。



画面（A～D）・・・出力画面を表しています。画面 A は出力ユニットの出力 1 の画面を表しています。

レイアウト・・・1 出力画面毎に 8 個のレイアウトを保存出来ます。

プリセット・・・全画面のレイアウトを一括設定する為、全画面のレイアウト番号により構成されたデータです。プリセットは 8 個保存出来ます。

プリセットとレイアウトの設定関係

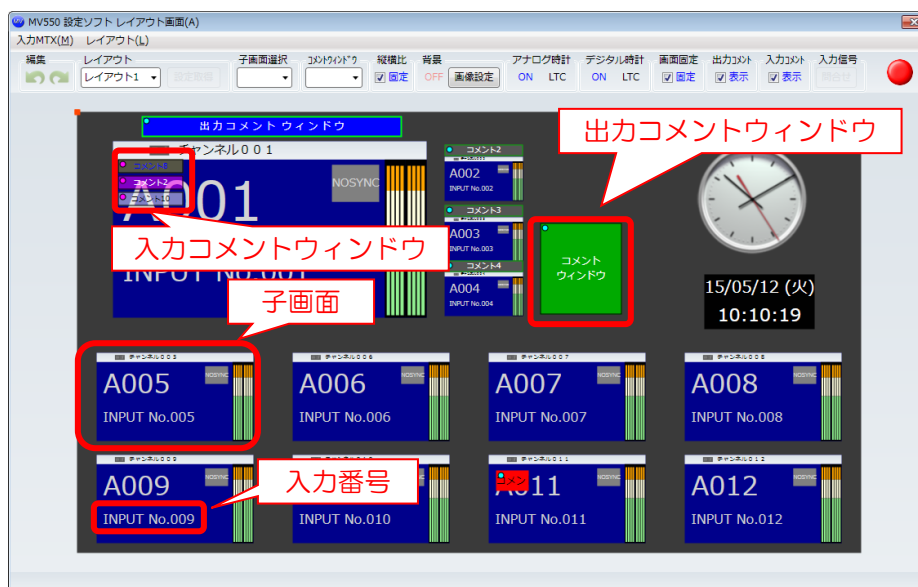
		プリセット							
		1	2	3	4	5	6	7	8
画面	A	1	2	1	1	3	1	1	3
	B	1	2	2	2	2	2	1	3
	C	1	2	3	3	1	3	1	3
	D	1	2	1	4	4	4	1	3

接続ステータス・・・MVとの接続状態を表します。

➤ 緑：オンライン

➤ 赤：オフライン

ボタンをクリックすることで接続／切断を行う事が出来ます。



子画面

- ・・・ 入力映像を表示する為のウィンドウ画面です。
画面 A に子画面が 8 個ある場合、A001 から A008 と表示されます。
1 つの画面に何個子画面を表示するかの設定は画面子画面数設定となります。

入力

- ・・・ 子画面に表示する映像は SDI 入力 1～48 のどれでも選択出来ます。（入力 MTX 機能）
子画面に表示する入力(1～48)の選択は入力 MTX 設定となります。
また、設定ソフトで入力(1～48)は上図のように「INPUT NO」で表示されます。

入力コメントウィンドウ

- ・・・ 子画面に設定された入力（1～48）に紐づいて表示するコメントウィンドウです。
子画面の入力・位置・サイズを変更すると変更に応じて入力コメントウィンドウの表示も変更されます。

出力コメントウィンドウ

- ・・・ レイアウト毎に表示するコメントウィンドウです。

コメントパターン

- ・・・ 入力・出力コメントウィンドウで表示する文字パターンです。
MV-550 本体には 1000 個のコメントパターンを登録することが可能です。
入力・出力コメントウィンドウは登録されているコメントパターンの中から文字を選択し表示します。

3. 設定ソフト機能概要

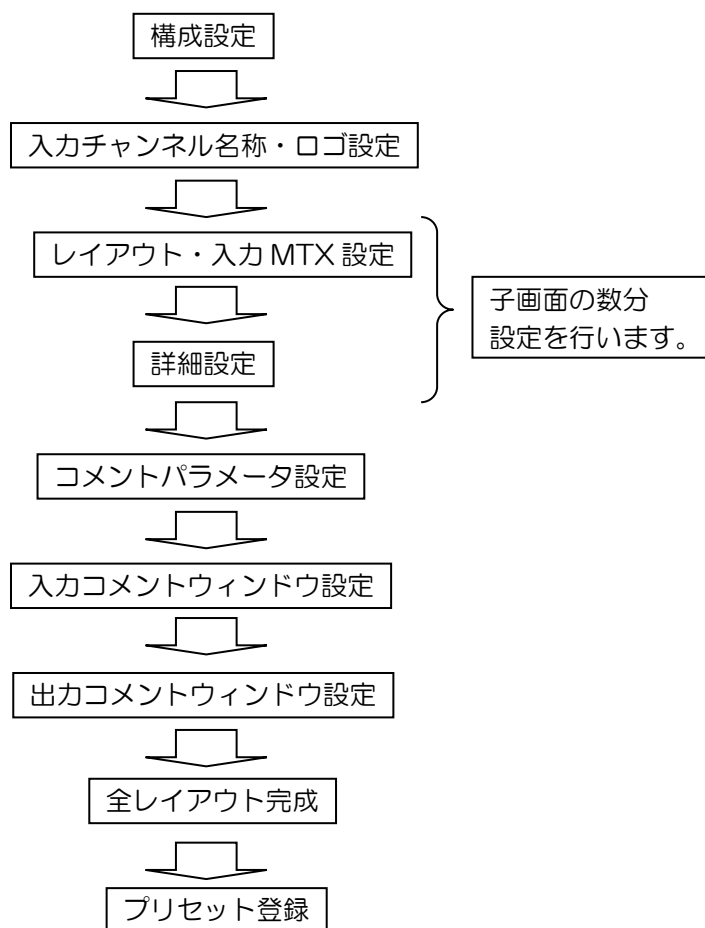
設定ソフトの機能概要を以下に記載します。

- ・ モニタレイアウト設定
出力モニタ数、配置に合わせて設定ソフトの画面イメージを配置します。
- ・ レイアウト・入力 MTX 設定
各画面のレイアウトを設定します。
- ・ チャンネル名称・ロゴ設定
入力（1～48）に対してチャンネル名称・ロゴを設定します。
- ・ MV-550 内部時刻設定
レイアウトに表示する MV 内部時刻設定の時計の表示時刻を設定します。
- ・ 動作レイアウト切替
MV-550 とオンライン状態において、画面単位または全画面一括で動作レイアウトの切替を行います。
- ・ プリセットの登録
プリセットを 8 個登録出来ます。
- ・ 入力 MTX の一括設定
複数の入力（1～48）を一括で設定します。
- ・ レイアウト情報のエクスポート・インポート
レイアウト情報を csv 形式でエクスポート、インポート出来ます。
- ・ MV-550 の状態確認
MV-550 の機器状態を確認することが出来ます。
- ・ 設定ウィザード
MV-550 の最低限、必要な設定を一連の流れで行います。

4. 設定手順

MV-550 設定ソフトによる設定手順について記載します。

MV-550 の設定手順として以下のように「構成設定」、「入力チャンネル名称・ロゴ設定」、「コメントパターン設定」、「レイアウト・入力 MTX 設定」、「詳細設定」、「コメントパターン設定」、「入力コメントウィンドウ設定」、「出力コメントウィンドウ設定」及び「プリセット登録」の順に設定します。



各設定内容の概要を以下に記載します。設定方法の詳細については以降に記載します。

「構成設定」

使用するモニタ数等の設定を行います。

「入力チャンネル名称・ロゴ設定」

入力（1～48）に対して、名称及びロゴの設定を行います。

「レイアウト・入力 MTX 設定」

画面のレイアウト設定を行います。同時に子画面の入力（1～48）を選択します。

「詳細設定」

子画面のレイアウト設定を行います。

「コメントパラメータ設定」

コメントパターンの設定を行います。

「入力コメントウィンドウ設定」

入力（1～48）に紐づくコメントウィンドウのレイアウトの設定を行います。

「出力コメントウィンドウ設定」

レイアウト毎に表示するコメントウィンドウのレイアウトの設定を行います。

「プリセット登録」

全レイアウトの設定が完了後にプリセットの登録を行います。

4.1 構成設定

MV-550 のレイアウト設定において、最初に出力画面構成設定を行う必要があります。

出力画面構成の設定内容としては以下の項目があります。

- ・ 基板設定

- MV-550 の基板構成を設定します。

- この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-550 には何も設定されません。

- MV-550 と基板構成が異なる場合、正常に動作しない可能性があります。

- ・ 出力モニタ設定

- 出力モニタの構成を設定します。設定内容は以下の通りです。

- モニタレイアウト設定

- 出力モニタ数及びモニタの配置を設定します。

- この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-550 には何も設定されません。

- 各画面の最大子画面数設定 ※

- 各画面が表示する最大子画面数の設定を行います。

- 出力モニタのアスペクト設定

- 各画面が表示されるモニタのアスペクト比の設定を行います。

- この設定は設定ソフトの表示方法に対する設定の為、MV-550 には何も設定されません。

- MV-550 の出力モニタのアスペクト比の設定は出力ユニットの DVI 基板のロータリースイッチとディップスイッチにより行います。

- (詳しくは MV-550 取扱説明書参照)

※ 「構成設定」により各画面の最大子画面数を変更した場合、「レイアウト・入力 MTX 設定」により全てのレイアウトの再設定が必要になります。

4.2 構成設定方法

構成設定は構成設定画面より行うことができます。

構成設定画面は Top 画面のツールバーより表示します。

下記、設定を行なった後、「設定（保存）」ボタンを押下し、MV-550 へ設定します。



構成設定画面の表示



4.2.1 基板設定方法

手順1. 「基板設定」項目で設定を行います。

スケーラー基板、リア基板及び DVI 基板の構成を設定して下さい。

オンライン時には MV-550 の基板構成で表示されます。

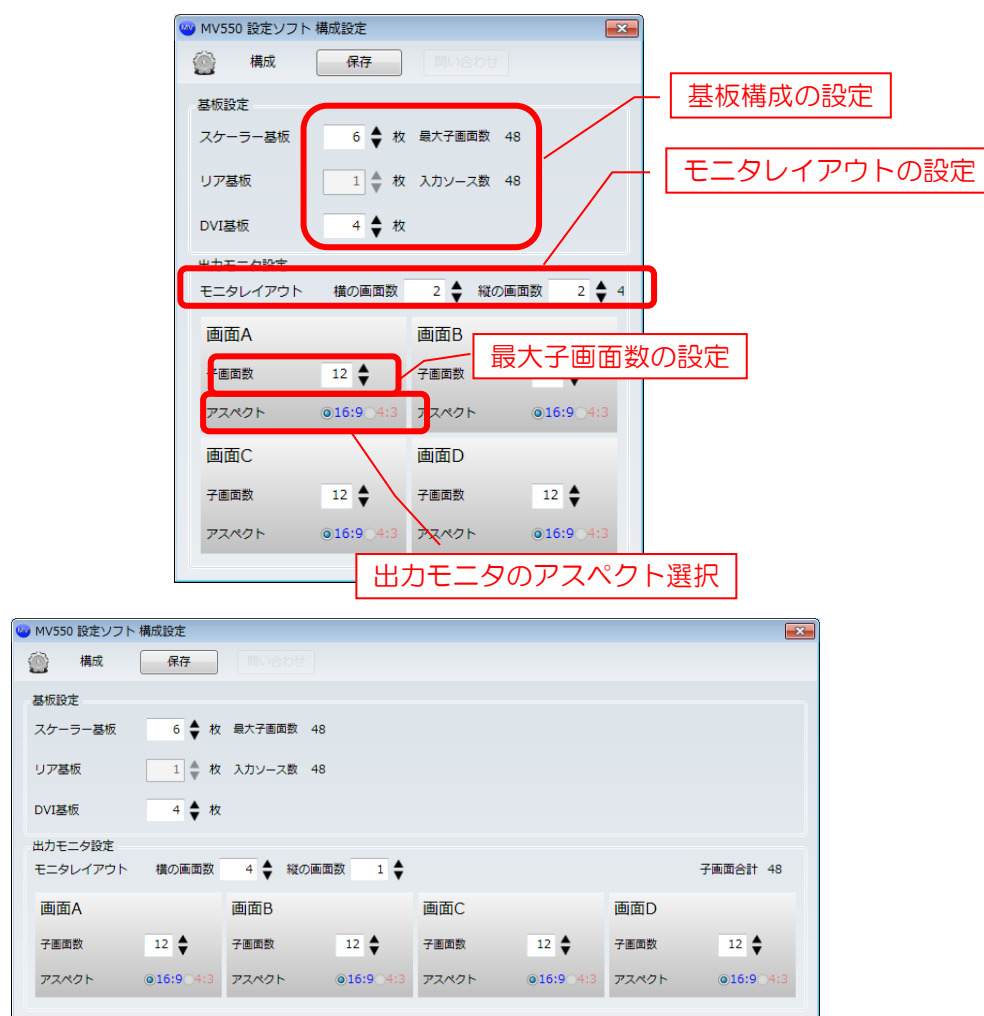
4.2.2 出力モニタ設定方法

手順1. 「出力モニタ設定」項目で以下の設定を行います。

- ・ モニタレイアウト設定

モニタレイアウトの設定により縦2×横2だけではなく、下図のように縦1×横4のようなモニタレイアウトが可能です。

- ・ 各画面の最大子画面数設定
- ・ 出力モニタのアスペクト選択



4.2.3 各画面の子画面数設定方法

各画面の最大子画面数の設定は Top 画面から設定する事が出来ます。

手順1. Top 画面の「子画面数設定」項目で各画面の子画面数を指定します。

手順2. 「設定ボタン」押下により各画面の子画面数が設定されます。



4.3 入力チャンネル名称・ロゴ設定

下記手順により入力（１～４８）に対して、チャンネル名称・ロゴの設定を行います。

手順1. Top 画面のツールバーよりチャンネル名称設定画面を表示します。

手順2. リストの「ロゴ」「チャンネル名称」「SID」項目にそれぞれチャンネルロゴ、チャンネル名称、サービス ID を入力します。
（チャンネルロゴはイメージをクリックすると画像選択ダイアログが表示されます。）

手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-550 への設定を行います。



手順 1. チャンネル名称設定画面の表示



手順 2. チャンネル名称・ロゴ及び SID を入力

4.4 レイアウト・入力MTX 設定

下記手順により各画面のレイアウト及び入力MTX 設定を行います。

- 手順1. Top 画面の画面選択画面で設定対象の画面をクリックし、レイアウト画面を表示します。
- 手順2. ツールバーの「レイアウト」により、設定対象のレイアウト番号を選択します。
- 手順3. 「画面固定」項目により、レイアウトの固定を解除します。
- 手順4. 下記操作により、子画面、時計、出力コメントウィンドウ及び背景の設定を行います。

【子画面】

対象の子画面イメージのドラッグ、矢印キー又はコンテキストメニューにより設定を行います。

【時計】

ツールバーの「アナログ時計」「デジタル時計」項目、時計イメージのドラッグ又はコンテキストメニューにより設定を行います。

【出力コメントウィンドウ】

ツールバー、コメントウィンドウイメージのダブルクリック、ドラッグ又はコンテキストメニューにより設定を行います。

【背景】

ツールバーの「背景」項目により表示 ON/OFF、画像の選択を行います。

- 手順5. ツールバー「入力MTX」から入力MTX画面を表示します。リストより子画面の入力番号(1～48)を設定します

※ レイアウト画面では、設定が変更された時点で MV-550 に反映又は設定ソフトへ保存が行われます。

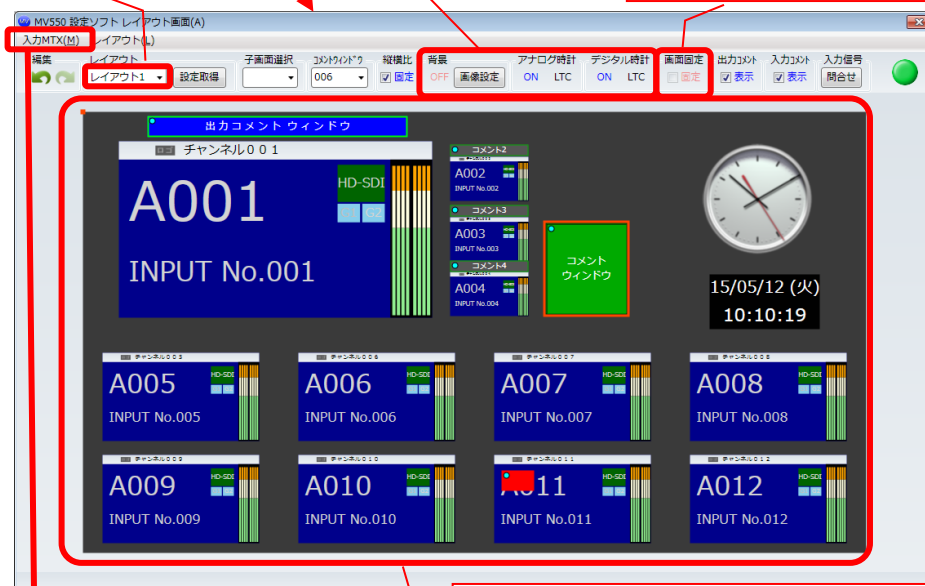


手順 1. レイアウト画面の表示

手順 2. レイアウト番号の選択

手順 4. 時計、背景の設定

手順 3. レイアウト固定の解除



手順 4. レイアウト及び
出力コメントウィンドウの設定



手順 5. 入力 MTX の設定

4.5 詳細設定

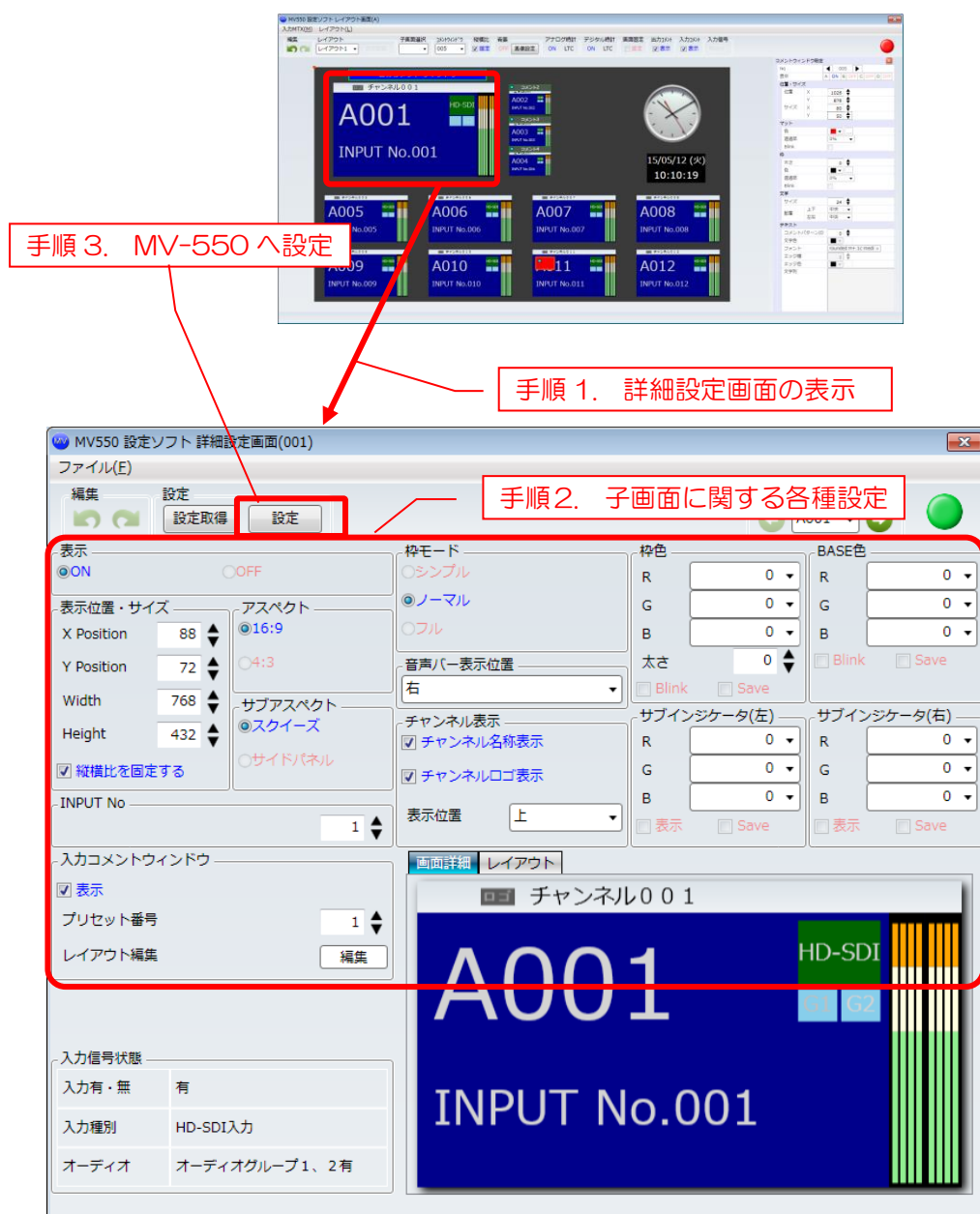
下記手順により子画面のレイアウトの設定を行います。

手順1. レイアウト画面より設定対象の子画面イメージをダブルクリックし、詳細設定画面を表示します。

手順2. 子画面表示に関する各種設定を行います。

手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-550 への設定を行います。

※ 詳細設定画面では「設定(保存)」ボタンを押下するまで、MV-550 への反映又は設定ソフトへの保存は行われません。



4.6 コメントパターン設定

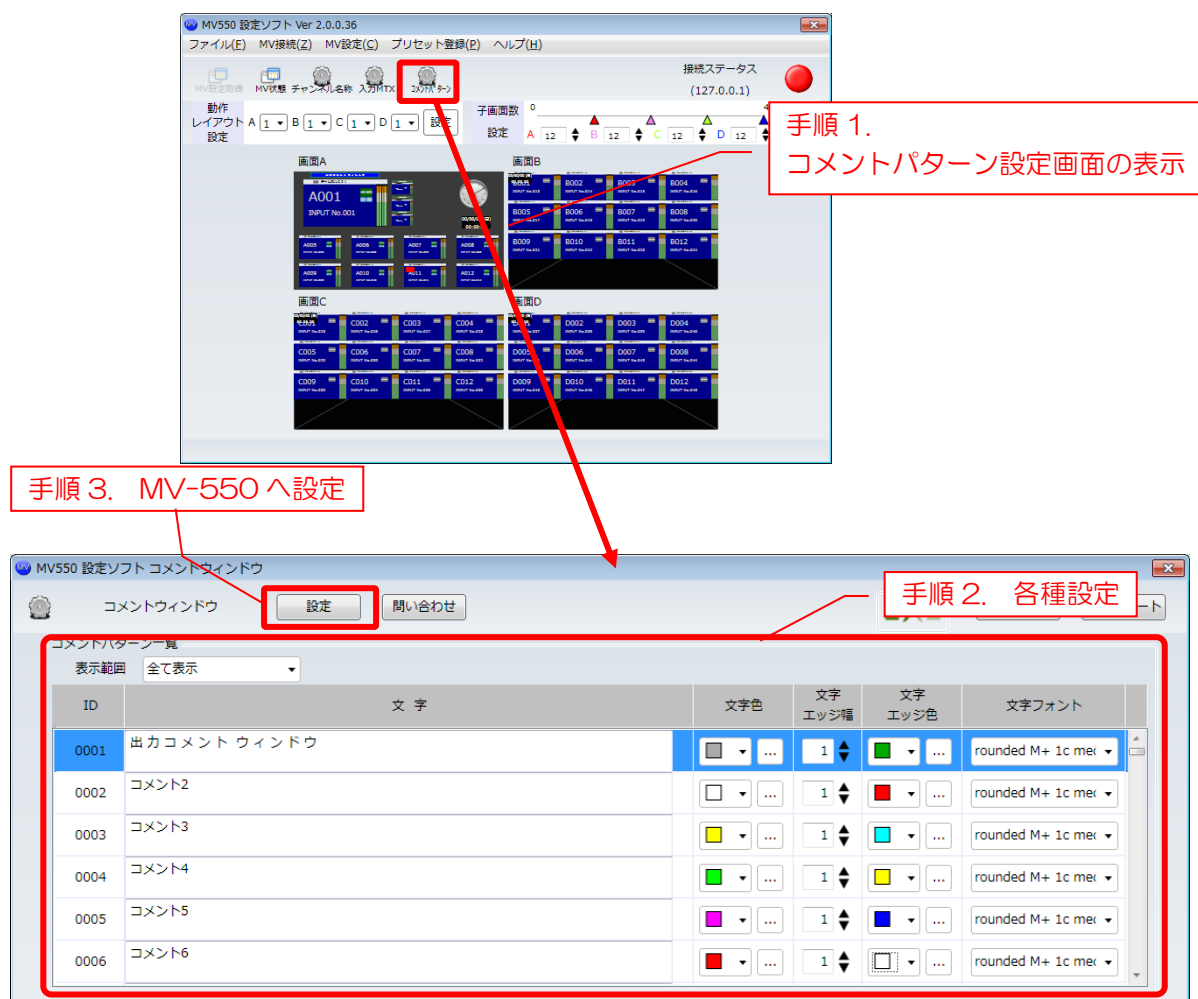
下記手順によりコメントウィンドウのコメントパターンの設定を行います。

手順1. Top 画面のツールバーよりコメントパターン設定画面を表示します。

手順2. リストの各コメントパターンに設定を行います。

手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、設定します。

※ コメントパターン設定画面では「設定(保存)」ボタンを押下するまで、MV-550 への反映又は設定ソフトへの保存は行われません。



4.7 入力コメントウィンドウ設定

下記手順により入力コメントウィンドウの設定を行います。

入力コメントウィンドウ設定の例を「14.入力コメントウィンドウの設定例」に示します。

手順1. 下図の様に詳細画面の入力コメントウィンドウ項目又は、レイアウト画面のレイアウトから入力コメントウィンドウ設定画面を表示します。

手順2. ツールバーの「Input No」「プリセット」より、設定対象の Input No、プリセット番号を選択します。

※ 入力コメントウィンドウのプリセット番号は4個まで保存できます。

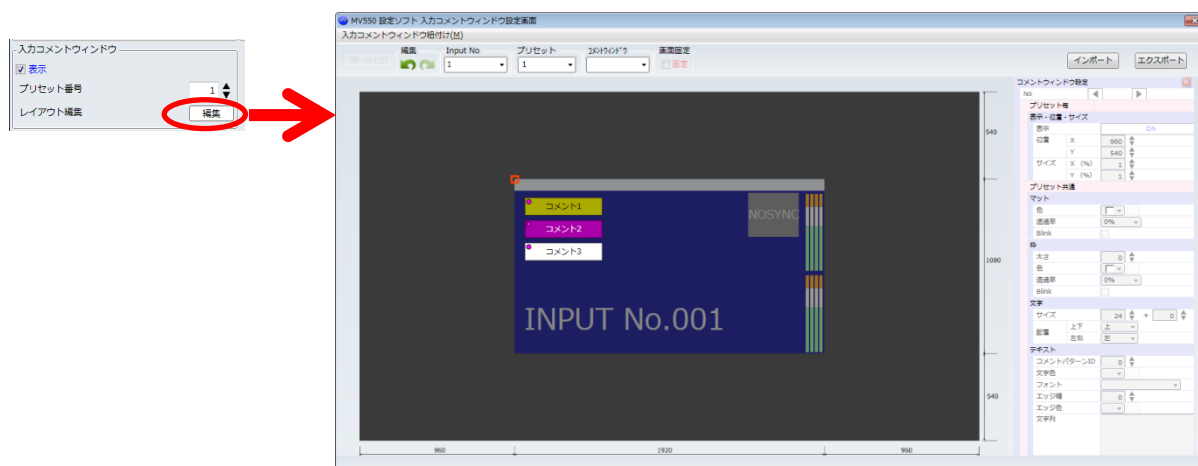
手順3. 「画面固定」項目により、レイアウトの固定を解除します。

手順4. 入力コメントウィンドウのレイアウトを設定します。

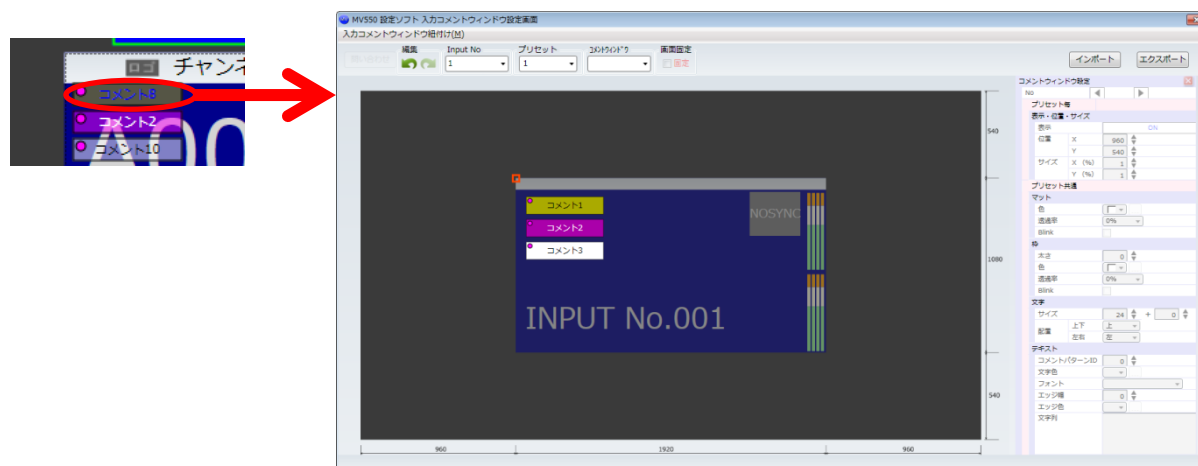
設定方法はコメントウィンドウイメージのマウสดラッグ又は画面右の入力コメントウィンドウの設定画面より行います。

設定が変更された時点で MV-550 に反映又は設定ソフトへ保存が行われます。

手順1. 詳細設定画面の入力コメントウィンドウ項目より表示

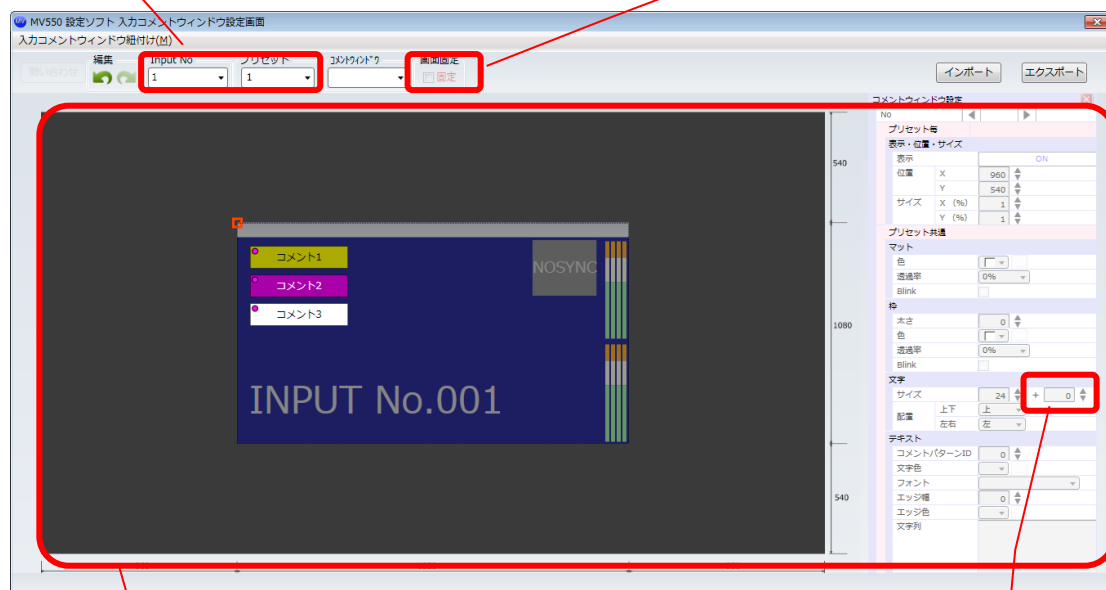


手順1. レイアウト画面の入力コメントウィンドウをダブルクリックにより表示



手順 2. Input No、※2プリセット番号の選択

手順 3. レイアウト固定の解除



手順 4. レイアウトの設定

※1.文字サイズ補正

※1 文字サイズ補正值について

入力コメントウィンドウの文字サイズはその入力コメントウィンドウに紐づく子画面のサイズに比例して縮小されます。

文字サイズ補正值は、子画面のサイズに関係なく表示する文字サイズの値です。

実際の表示文字サイズと文字サイズ設定値、文字サイズ補正值の関係は以下の通りです。

実際の表示文字サイズ

$$= (\text{文字サイズ設定値} * (\text{紐づく子画面のYサイズ} / 1080)) + \text{文字サイズ補正值}$$

※2 入力コメントウィンドウのプリセット登録について

入力コメントウィンドウのレイアウトを4個まで保存することが出来ます。

プリセット登録は、入力コメントウィンドウ設定画面のツールバー「プリセット」でプリセット番号を選択してから、レイアウトの設定を行います。

4.8 出力コメントウィンドウ設定

下記手順により出力コメントウィンドウの設定を行います。

【コメントウィンドウ設定画面より設定】

手順1. 下図の様にレイアウト画面のツールバーからコメントウィンドウ設定画面を表示します。

手順2. リストの各コメントウィンドウに設定を行います。

コメントパターンには選択されているコメントウィンドウに紐づいているコメントパターンが表示され、設定を行えます。

手順3. 「設定(保存)」ボタンを押下し、設定します。

※ コメントウィンドウ設定画面では「設定(保存)」ボタンを押下するまで、MV-550 への反映又は設定ソフトへの保存は行われません。

手順1. コメントウィンドウ設定画面の表示



コメントウィンドウ設定画面

手順3. MV-550 へ設定



手順2. コメントウィンドウの各種設定

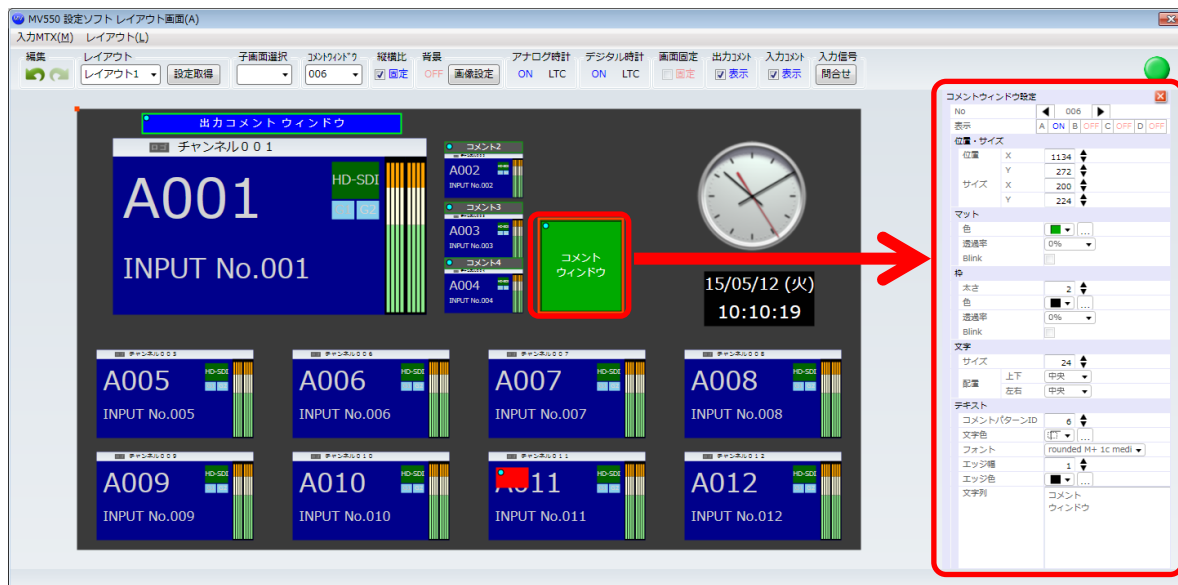
【レイアウト設定画面より設定】

手順1. 下図の様にレイアウト画面の出力コメントウィンドウを選択し、レイアウト画面の右側に選択された出力コメントウィンドウの設定画面を表示します。

手順2. 各パラメータの設定を行います。

設定方法はコメントウィンドウイメージのマウスドラッグ又は出力コメントウィンドウの設定画面より行います。

本体への設定はパラメータを変更する度行われます。



4.9 プリセット登録

下記手順によりプリセットの登録を行います。

手順1. Top 画面のツールバーよりプリセット登録画面を表示します。

手順2. リストの各プリセットの画面レイアウト番号を入力します。

手順3. 「登録」ボタンを押下し、保存します。



手順 1. プリセット登録画面の表示



手順 3. 保存

手順 2. 画面レイアウト番号を入力

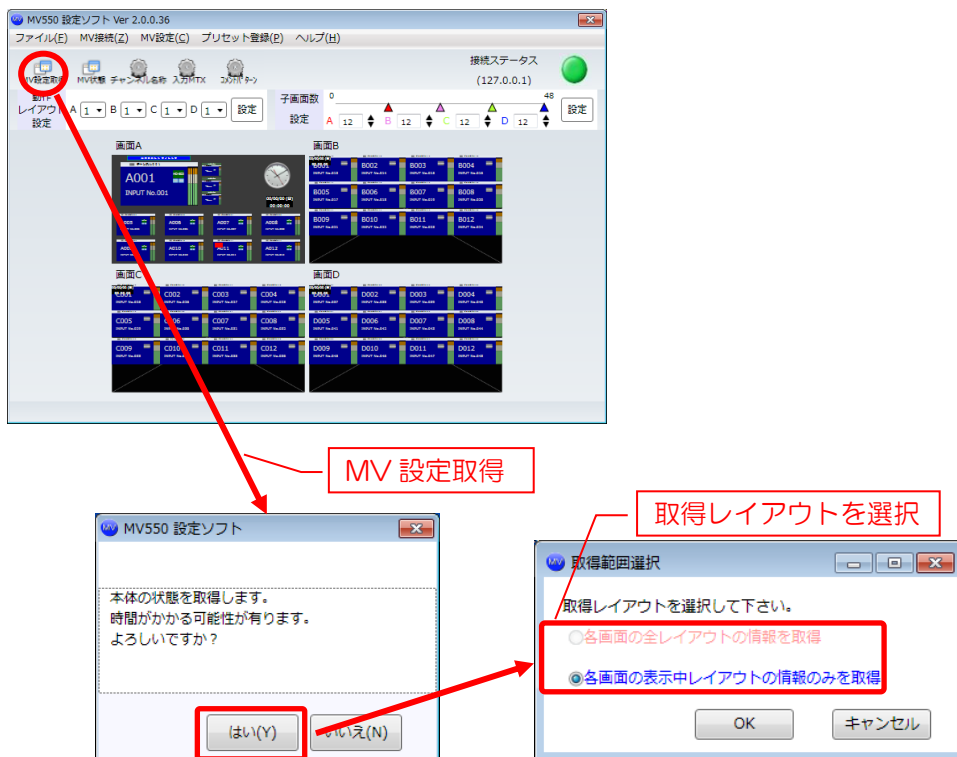
5. MV-550の同期方法

5.1 MV-550 オンライン時における設定の同期方法

MV-550 とオンラインで設定した内容は随時 MV-550 に設定が行われて同期が保たれます。

設定した内容は設定ソフトに保存されます。

また、Top 画面のツールバー「MV 設定取得」から本体のレイアウト状態を取得することが出来ます。



5.2 MV-550 オフライン時における設定の同期方法

MV-550 のオフライン時は、設定した内容は MV-550 に設定されません。

ただし、設定した内容は設定ソフトに保存されます。

同期を行うには、MV-550 に接続し同期を行う必要があります。

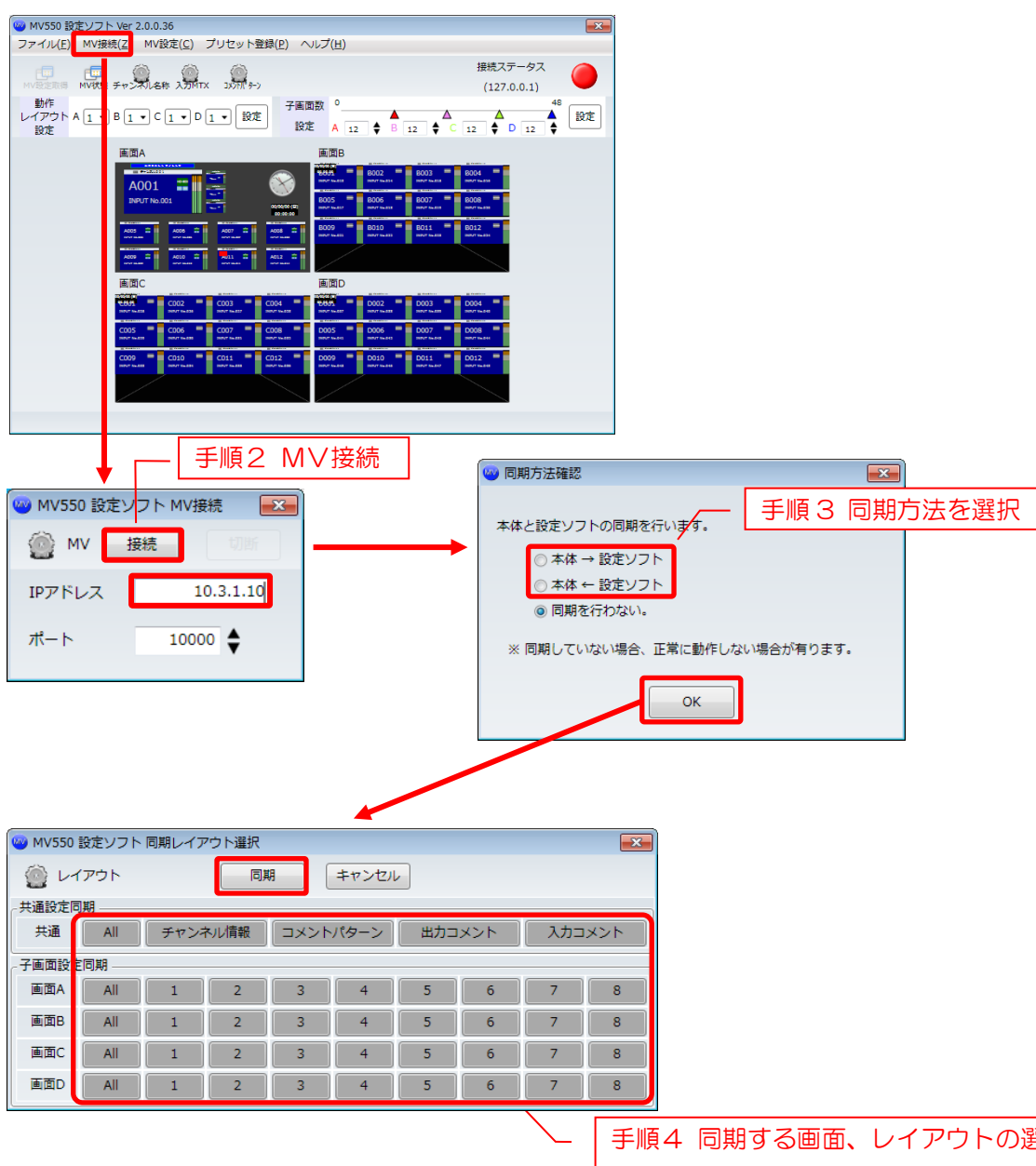
同期を行う手順は下記の通りです。

手順1. Top 画面のメニューバー「MV 接続 (Z)」をクリックし、MV 接続画面を表示します。

手順2. MV-550 の IP アドレスを入力し、接続ボタンを押下して本体と接続を行います。

手順3. 同期方法確認画面で「本体 → 設定ソフト」（本体の設定取得）か「本体 ← 設定ソフト」（設定ソフト設定内容を設定）の同期方法を選択します。

手順4. 同期レイアウト選択画面で、同期を行う項目、ならびに画面とレイアウト番号を選択して同期を行います。



6. MV-550設定内部時刻設定

6.1 MV-550 時刻設定方法

手順1. Top 画面のツールバーの「MV 設定(C)」→「時刻設定(T)」により設定を行います。

設定ツールが起動しているパソコンの時刻が設定されます。



7. 動作レイアウト切替/レイアウトコピー

7.1 画面単位の動作レイアウト切替方法

画面単位で動作レイアウトの切替が出来ます。切替手順は以下の通りです。

手順1. Top 画面よりレイアウト画面を表示します。

(レイアウト画面の表示方法は「4.4 レイアウト・入力 MTX 設定」を参照下さい。)

手順2. 「レイアウト」項目のコンボボックスよりレイアウトを選択することにより、動作レイアウトが切り替わります。



7.2 プリセットによる動作レイアウト一括切替方法

「4.9 プリセット登録」により登録されたプリセットにより、動作レイアウトの一括切替が出来ます。

切替手順は以下の通りです。

手順1. Top 画面よりプリセット登録画面を表示します。

(プリセット登録画面の表示方法は「4.9 プリセット登録」を参照下さい。)

手順2. 「動作プリセット」項目のコンボボックスより動作プリセットを選択することにより、動作レイアウトが切り替わります。



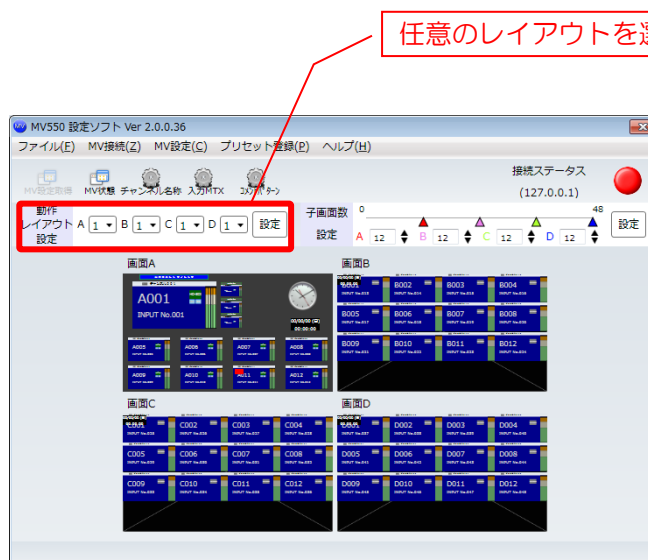
7.3 任意の設定による動作レイアウト切替方法

任意のレイアウトの組み合わせの動作レイアウトの一括切替が出来ます。

切替手順は以下の通りです。

手順1. Top 画面の「動作レイアウト設定」項目で任意のレイアウトを選択します。

手順2. 「設定ボタン」押下により動作レイアウトが切り替わります。



7.4 レイアウトのコピー

動作レイアウトを他のレイアウトにコピーする事が出来ます。

レイアウトのコピー手順は下記の通りです。

手順1. Top 画面の画面選択画面で画面をクリックし、レイアウト画面を表示します。

手順2. ツールバー「レイアウト (L)」の「レイアウトコピー (C)」からコピー先のレイアウト番号を選択します。

但し、この時点ではコピーした内容は本体に設定されていません。

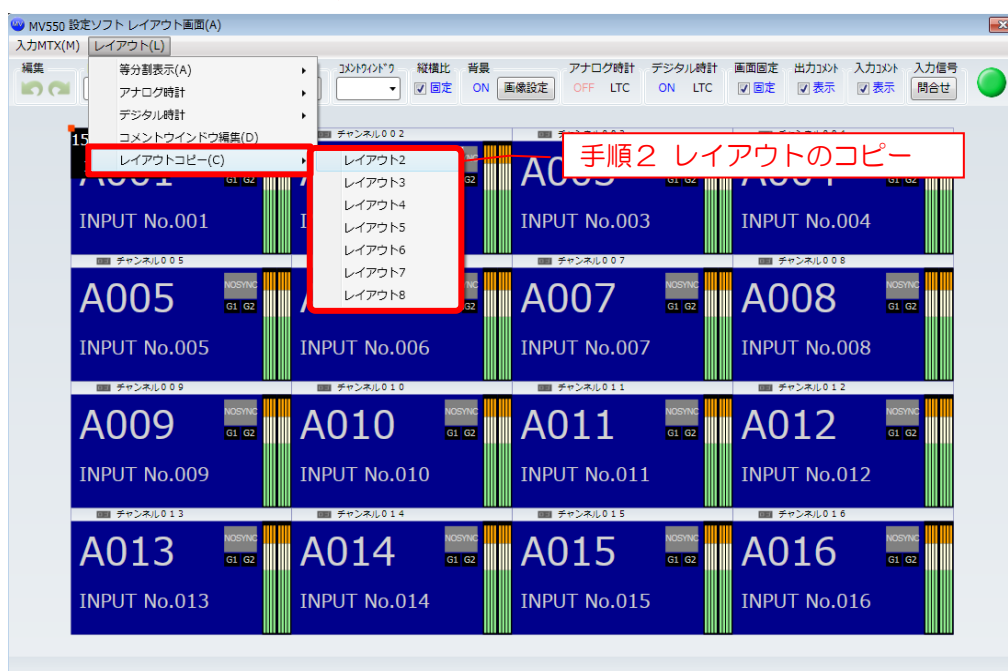
本体に設定する場合は、同期を行って設定する必要があります。

手順3. Top 画面の接続ステータスボタンをクリックし、MV 接続を切断します。

手順4. 接続ステータスボタンをクリックして本体と接続を行います。

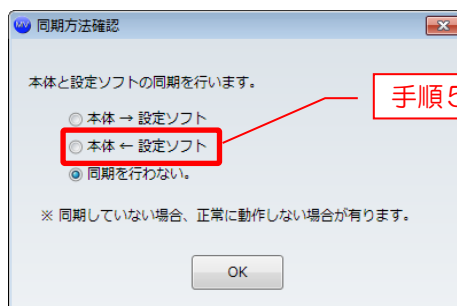
手順5. 同期方法確認画面で「本体 ← 設定ソフト」（設定ソフト設定内容を設定）の同期方法を選択します。

手順6. 同期を行う項目、ならびに画面とレイアウト番号を選択して同期を行います。





手順4. MV接続



手順5 同期方法を選択



手順6 同期する画面、レイアウトの選択

8. 入力MTXの一括設定

8.1 入力 MTX の一括設定方法

下記手順により、入力 MTX の一括設定が行えます。

手順 1. Top 画面の入力 MTX のアイコンをクリックし、入力 MTX 設定画面を表示します。

手順 2. 入力 MTX 設定画面の左上のコンボボックスより画面とレイアウトを設定します。

手順 3. リストにより設定対象となる子画面の入力(1~48)を入力します。

手順 4. 設定する子画面分、手順 2、3 を繰り返します。

手順 5. 「設定(保存)」ボタンを押下し、MV-550 へ設定します。



手順 1. 入力 MTX 設定画面の表示



手順 4. MV-550 へ設定

手順 2. 画面、レイアウト番号を選択

手順 3. 子画面に入力(1~48)を入力

9. レイアウト情報のエクスポート・インポート

設定ソフトで設定したレイアウト情報を csv 形式のファイルにエクスポートすることが出来ます。

また、レイアウト情報の csv 形式のファイルをインポートすることが出来ます。

9.1 レイアウト情報のエクスポート/インポート

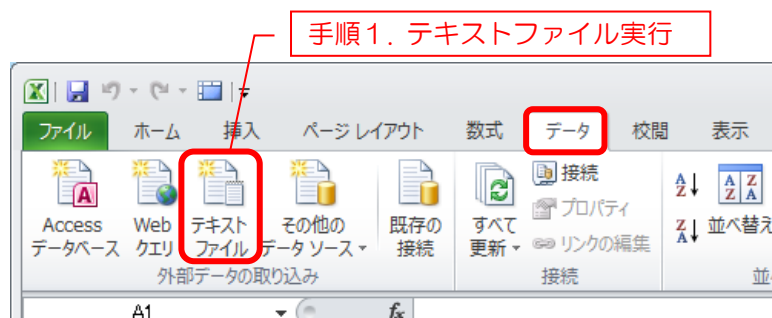
9.1.1 レイアウト情報のエクスポート方法

- 手順1. Top 画面のツールバーの「ファイル (F)」→「エクスポート (E)」をクリックします。
- 手順2. ファイルの出力先フォルダ選択し、レイアウト情報をエクスポートします。
エクスポートが完了すると選択したフォルダに下記のファイルが作成されます。
「MV_Comment_Layout.csv」 ※1
「MV_Config.csv」
「MV_InComment.csv」 ※1
「MV_InComment_Layout.csv」
「MV_Insource_tbl.csv」
「MV_Layout_GamenA.csv」
「MV_Layout_GamenB.csv」
「MV_Layout_GamenC.csv」
「MV_Layout_GamenD.csv」
「MV550_Preset_Info.csv」
「comment_patern.csv」
エクスポートしたファイルは Excel などのソフトで編集することが出来ます。
ファイルの内容については、「15. エクスポートファイルの詳細」を参照下さい。

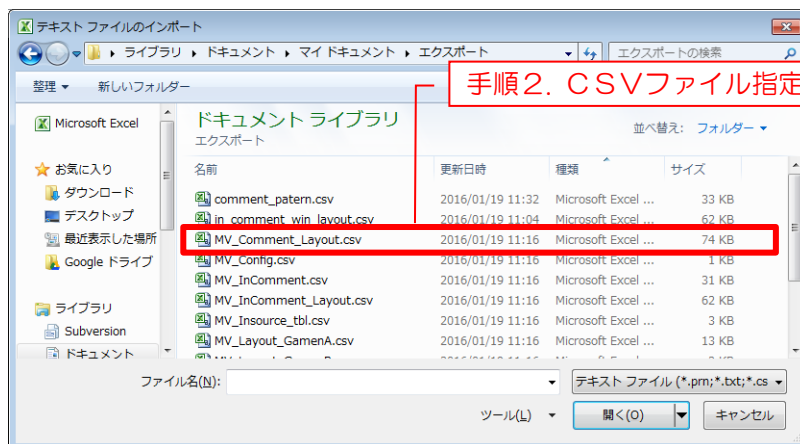
※1 CSVファイルの編集に関する注意事項

エクスポートした「MV_Comment_Layout.csv」と「MV_InComment.csv」を Excel で編集する際、下記方法で読み込んでください。

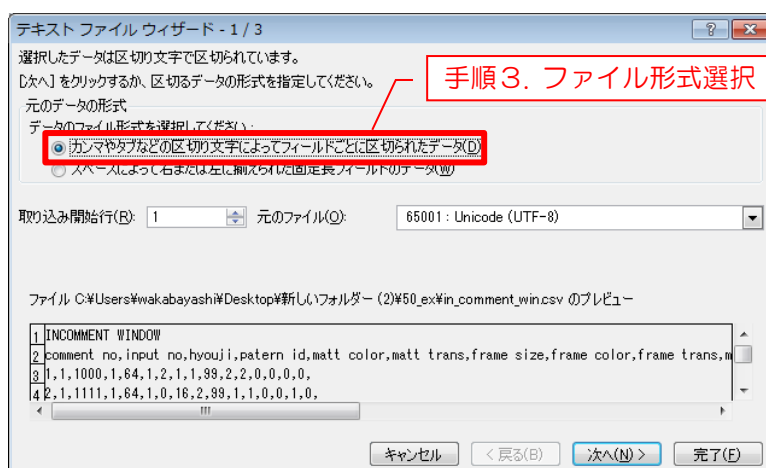
- 手順1. Excel を起動し、[データ]タブの[テキストファイル]を実行します。



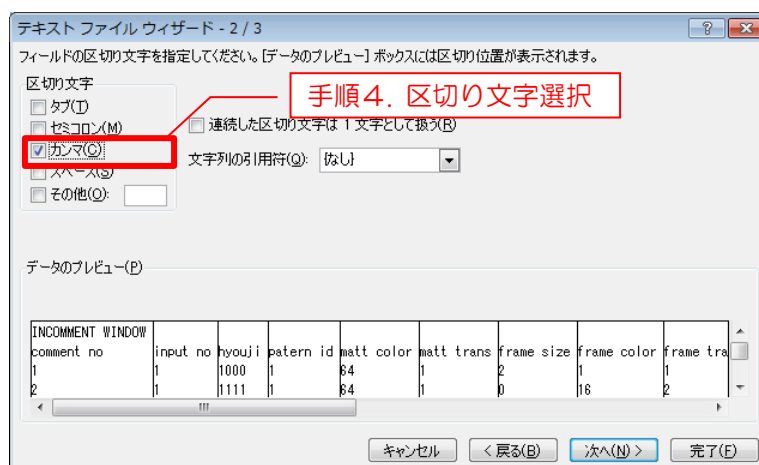
手順2. CSVファイルの場所を開き、編集するCSVファイルを指定します。



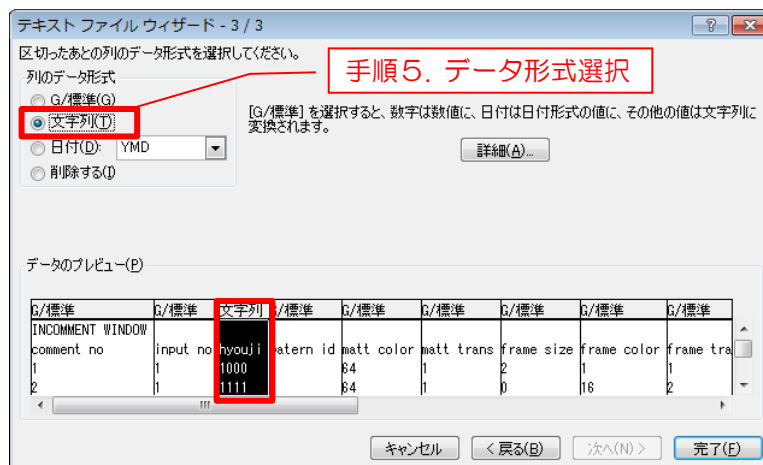
手順3. 「テキストファイルウィザード 1/3」で「カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごと区切られたデータ」にチェックが入っているのを確認して[次へ]をクリックします。



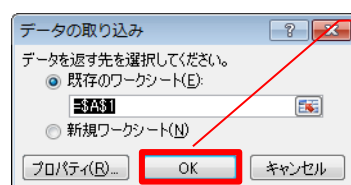
手順4. 「テキストファイルウィザード 2/3」で区切り文字を「カンマ」にチェックを入れて[次へ]をクリックします。



- 手順5. 「テキストファイルウィザード 3/3」でデータのプレビューの「hyouji」列を選択します。列のデータ形式で「文字列」にチェックを入れ[完了]をクリックします。



- 手順6. 「データの取り込み」ダイアログボックスが開くので[OK]をクリックすると、CSVファイルが開かれます。



編集した内容を保存する場合は、ファイルの種類をCSV（カンマ区切り）で保存してください。

9.1.2 レイアウト情報のインポート方法

- 手順1. Top 画面のツールバーの「ファイル (F)」→「インポート (I)」をクリックします。
- 手順2. インポートするレイアウト情報の csv 形式のファイルを選択します。（ファイルは複数選択が可能です。）



9.2 コメントパターン エクスポート/インポート

コメントパターンは設定画面上でもエクスポート/インポートが可能です。

9.2.1 コメントパターン エクスポート方法

- 手順1. コメントパターン設定画面（画面表示方法は「4.6 コメントパターン設定」参照）の右上にある「エクスポート」ボタンをクリックします。
- 手順2. ファイルの出力先フォルダ選択し、コメントパターン情報をエクスポートします。エクスポートが完了すると選択したフォルダに下記のファイルが作成されます。
「comment_patern.csv」

エクスポートしたファイルは Excel などのソフトで編集することが出来ます。
ファイルの内容については、「15 エクスポートファイルの詳細」を参照下さい。

9.2.2 コメントパターン インポート方法

- 手順1. コメントパターン設定画面（画面表示方法は「4.6 コメントパターン設定」参照）の右上にある「インポート」ボタンをクリックします。
- 手順2. インポートするコメントパターン情報の csv 形式のファイルを選択します。



9.3 入力コメントウィンドウ エクスポート/インポート

入力コメントウィンドウは設定画面上でもエクスポート/インポートが可能です。

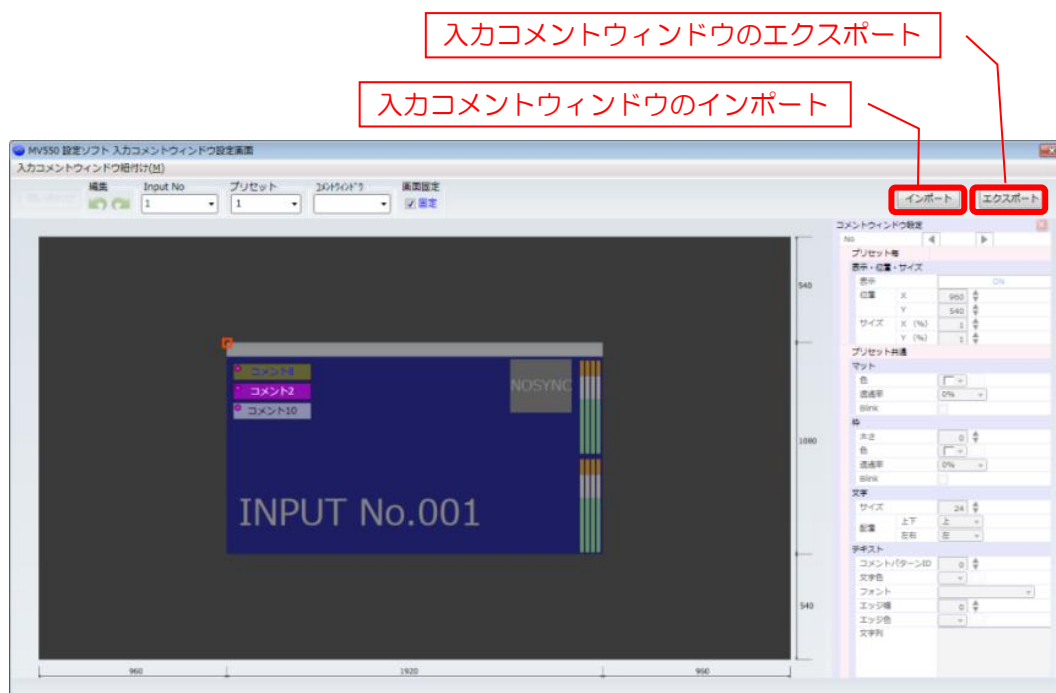
9.3.1 入力コメントウィンドウ エクスポート方法

- 手順1. 入力コメントウィンドウ設定画面（画面表示方法は「4.7 入力コメントウィンドウ設定」参照）の右上にある「エクスポート」ボタンをクリックします。
- 手順2. ファイルの出力先フォルダ選択し、入力コメントウィンドウ情報をエクスポートします。
- エクスポートが完了すると選択したフォルダに下記のファイルが作成されます。
- 「in_comment_win.csv」 ※1
 - 「in_comment_win_layout.csv」
 - 「comment_patern.csv」
- エクスポートしたファイルは Excel などのソフトで編集することが出来ます。
- ファイルの内容については、「15. エクスポートファイルの詳細」を参照下さい。

※1 エクスポートした「in_comment_win.csv」を Excel で編集する際は、「9.1.1 レイアウト情報のエクスポート方法」の**CSVファイルの編集に関する注意事項**を参照して下さい。

9.3.2 入力コメントウィンドウ インポート方法

- 手順1. 入力コメントウィンドウ設定画面（画面表示方法は「4.7 入力コメントウィンドウ設定」参照）の右上にある「インポート」ボタンをクリックします。
- 手順2. インポートする入力コメントウィンドウ情報の csv 形式のファイルを選択します。



9.4 出力コメントウィンドウ エクスポート/インポート

出力コメントウィンドウは設定画面上でもエクスポート/インポートが可能です。

9.4.1 出力コメントウィンドウ エクスポート方法

手順1. 出力コメントウィンドウ設定画面（画面表示方法は「4.8 出力コメントウィンドウ設定」参照）の右上にある「エクスポート」ボタンにより行います。
選択されたレイアウトの出力コメントウィンドウ情報がエクスポートされます。

手順2. ファイルの出力先フォルダ選択し、出力コメントウィンドウ情報をエクスポートします。

エクスポートが完了すると選択したフォルダに下記のファイルが作成されます。

「out_comment_win.csv」 ※1

「comment_pattern.csv」

エクスポートしたファイルは Excel などのソフトで編集することが出来ます。

ファイルの内容については、「15. エクスポートファイルの詳細」を参照下さい。

※1 エクスポートした「out_comment_win.csv」を Excel で編集する際は、「9.1.1 レイアウト情報のエクスポート方法」のCSVファイルの編集に関する注意事項を参照して下さい。

9.4.2 出力コメントウィンドウ インポート方法

手順1. 出力コメントウィンドウ設定画面（画面表示方法は「4.8 出力コメントウィンドウ設定」参照）の右上にある「インポート」ボタンにより行います。

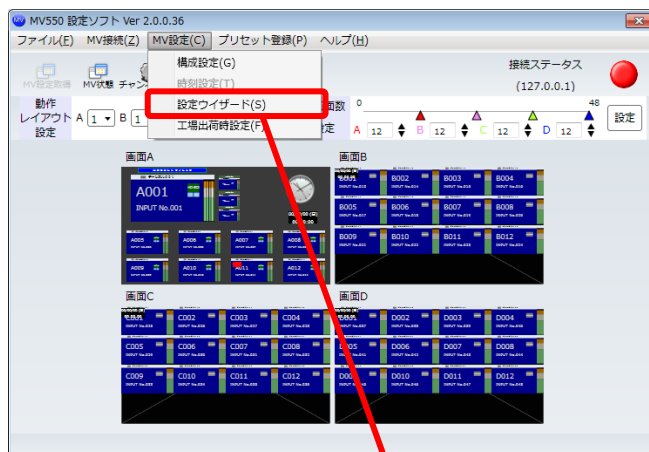
手順2. インポートする出力コメントウィンドウ情報の csv 形式のファイルを選択します。



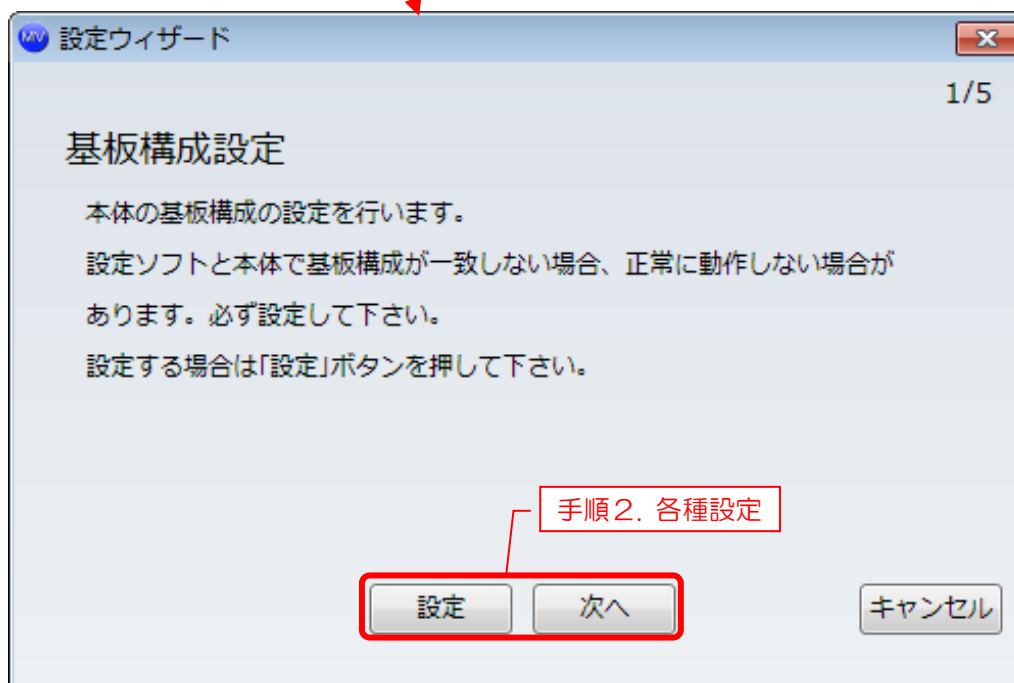
10. 設定ウィザード

10.1 設定ウィザード起動方法

- 手順1. Top 画面のツールバーの「MV 設定 (C)」→「設定ウィザード (S)」より設定ウィザードが起動します。
メッセージに沿って、設定を行なってください。
- 手順2. 「基板構成設定」、「モニタレイアウト設定」、「チャンネル名称・ロゴ設定」、「入力MTX設定」の順に進みます。
設定する場合は、「設定」ボタンを押して設定を行ってください。



手順 1. 設定ウィザードを起動

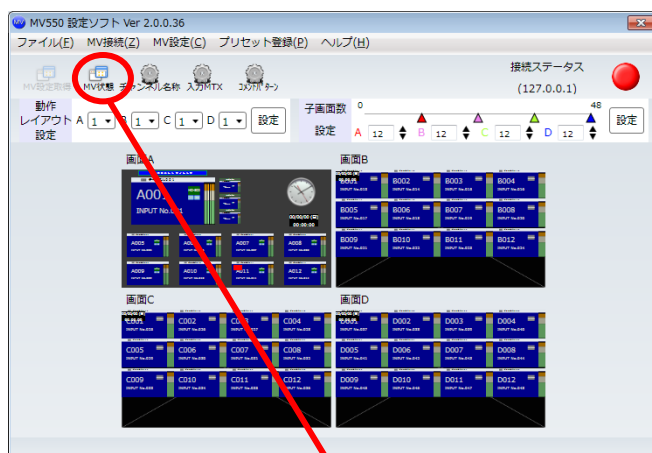


手順 2. 各種設定

11. MV-550 機器状態確認

11.1 MV-550 機器状態確認方法

手順1. Top 画面の「MV 状態」アイコンより MV 状態画面が表示し、機器状態を確認することが出来ます。



手順 1. MV 状態画面の表示

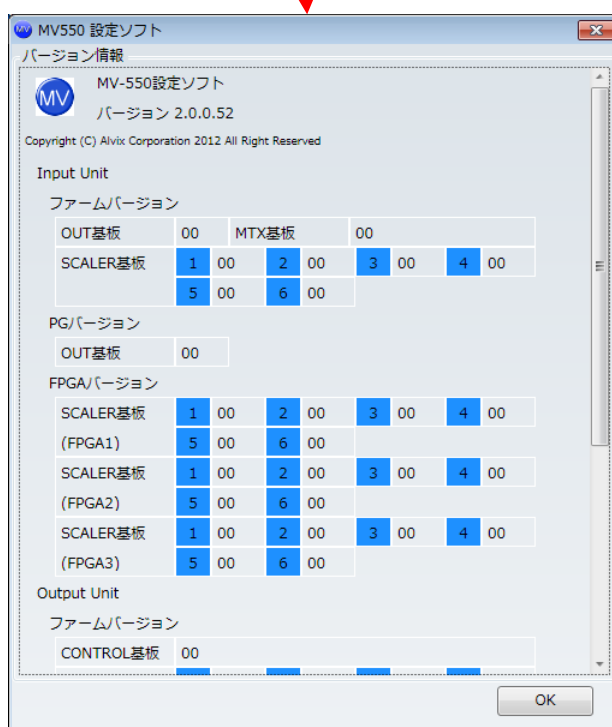


11.2 MV-550 バージョン情報取得方法

- 手順1. Top 画面のツールバーの「ヘルプ (H)」→「バージョン情報 (V)」より MVバージョン情報画面が表示されます。
 入力ユニット、出力ユニットの各基板のバージョン情報を確認することが出来ます。

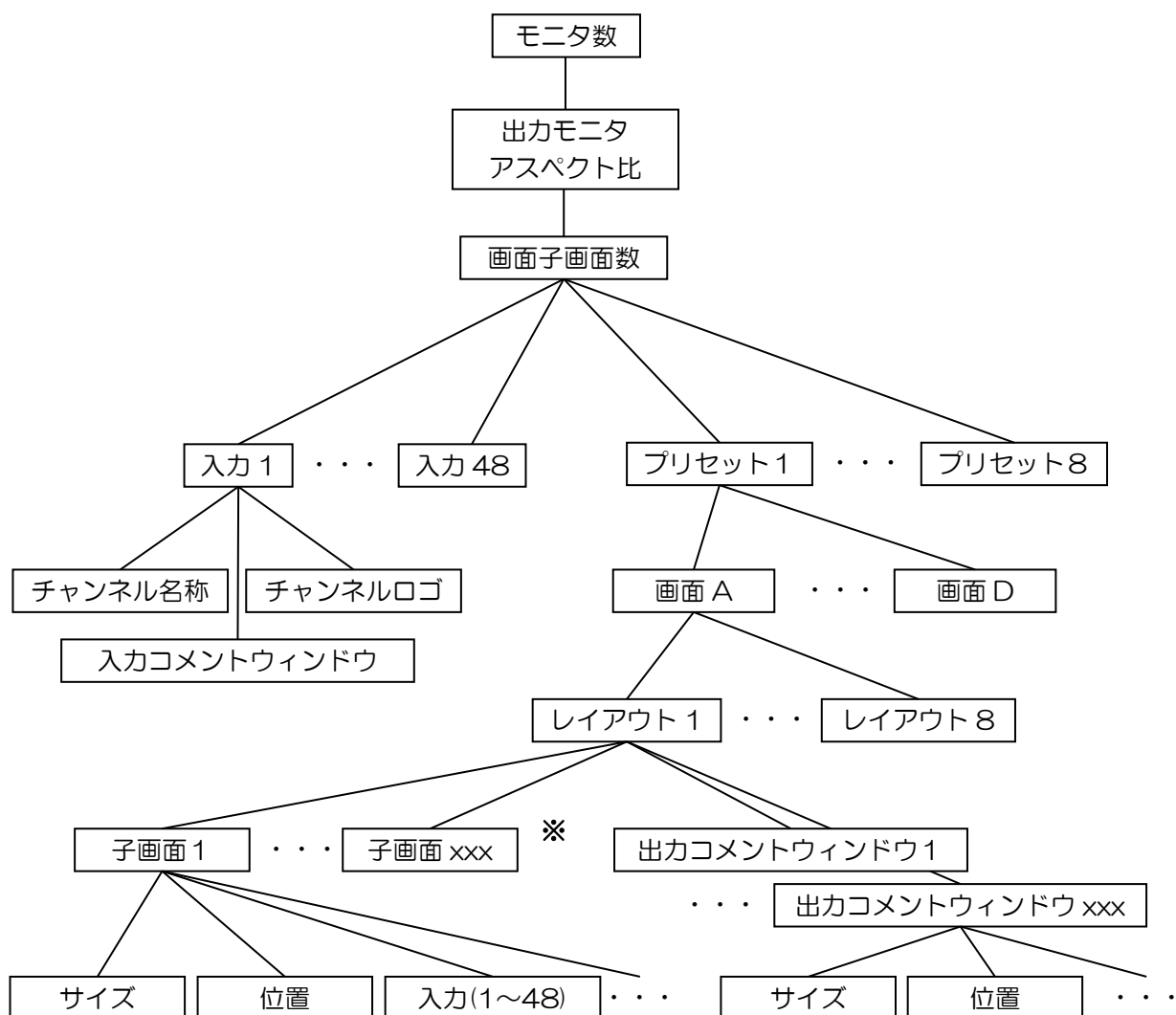


手順 1. MV バージョン情報画面の表示



12. データ構造について

MV-550 の設定データの構造について以下に記載します。



※ レイアウトの子画面数は画面子画面数設定で設定された数になります。

13. 出荷時設定について

工場出荷時の設定内容は以下の通りです。

- ・ モニタ数
モニタ数 : 基板構成により設定内容が異なります。
- ・ 出力モニタアスペクト比 【全画面共通】
出力モニタアスペクト比 : 16:9
- ・ プリセット【全プリセット共通】
プリセット構成 : 画面 A~D = レイアウト 1
- ・ 画面子画面数 【全画面共通】
子画面数 : 基板構成により設定内容が異なります。
- ・ 画面レイアウト 【全レイアウト共通】
子画面の位置、サイズ : 基板構成により設定内容が異なります。
時計表示 : アナログ時計表示=OFF
デジタル時計表示=ON
コメントウィンドウ (1~144) 表示 : OFF
背景表示 : ON (haikex.png(x=レイアウト No))
- ・ 子画面レイアウト 【全子画面共通】
表示 : ON
アスペクト : 16:9
サブアスペクト : スクイーズ
音声バー表示位置 : 右
枠モード : ノーマルモード
チャンネル名称表示 : ON
チャンネルロゴ表示 : ON
- ・ 入力 MTX 設定 【全レイアウト共通】
画面 A 子画面 1 = 入力番号 1
~
画面 D 子画面 12 = 入力番号 48
- ・ チャンネル名称 【全入力共通】
入力番号 1 =「チャンネル 01」
~
入力番号 48 =「チャンネル 48」
- ・ チャンネルロゴ 【全入力共通】
ロゴ
- ・ 出力コメントウィンドウ 【全コメントウィンドウ共通】
表示 : OFF
- ・ 入力コメントウィンドウ 【全コメントウィンドウ共通】
表示 : OFF

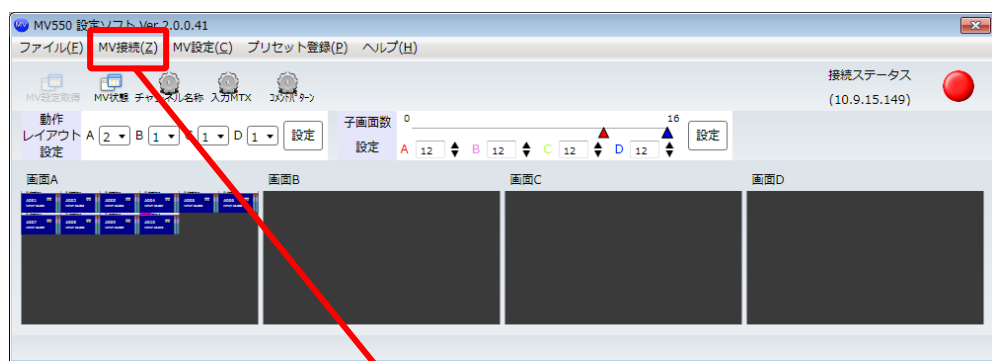
14. 入力コメントウィンドウの設定例

下記手順により入力コメントウィンドウの設定例を示します。

設定例 子画面 1 の Input No 1 の入力コメントウィンドウ 003 を紐付け表示さる。

※ IPアドレスは実際とは異なります。

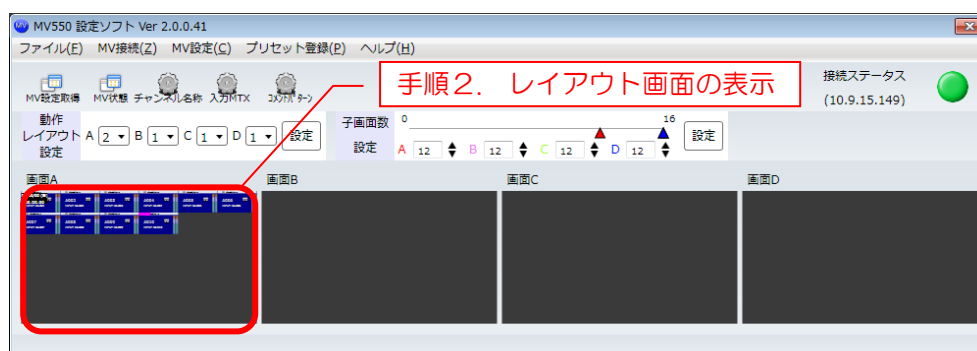
手順1. MV550 設定ソフトを起動させ、Top 画面のツールバーから MV 接続をクリックします。MV550 の接続情報を入力し、MV550 本体に接続します。



手順 1. MV550 本体に接続



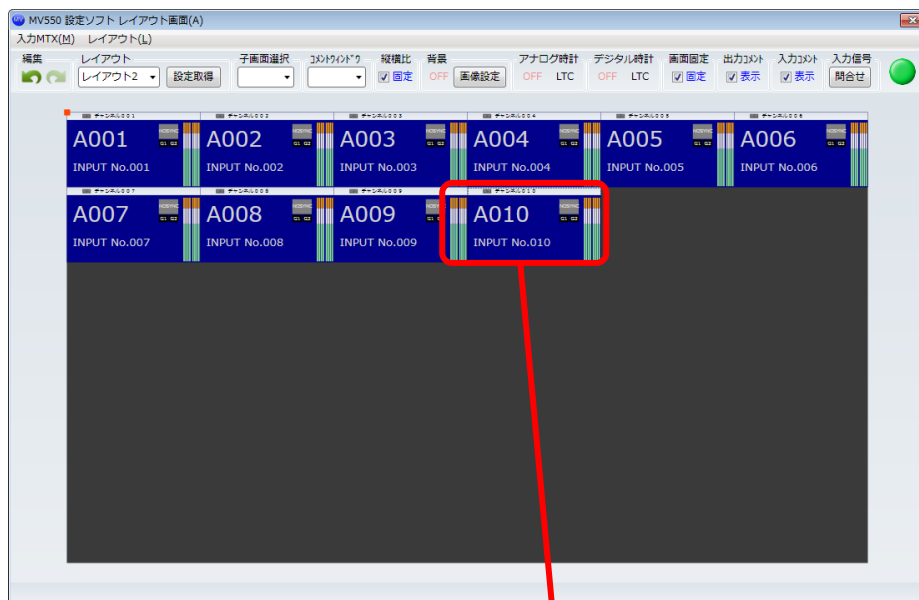
手順2. Top 画面の画面選択画面で設定対象の画面をクリックし、レイアウト画面を表示します。



手順 2. レイアウト画面の表示

手順3. レイアウト画面より設定対象の子画面イメージをダブルクリックし、詳細設定画面を表示します。

手順4. 入力コメントウィンドウ項目によりレイアウト編集の編集ボタンをクリックし、入力コメントウィンドウ設定画面を表示します。



手順4. 入力コメントウィンドウ画面の表示

手順3. レイアウト画面の表示

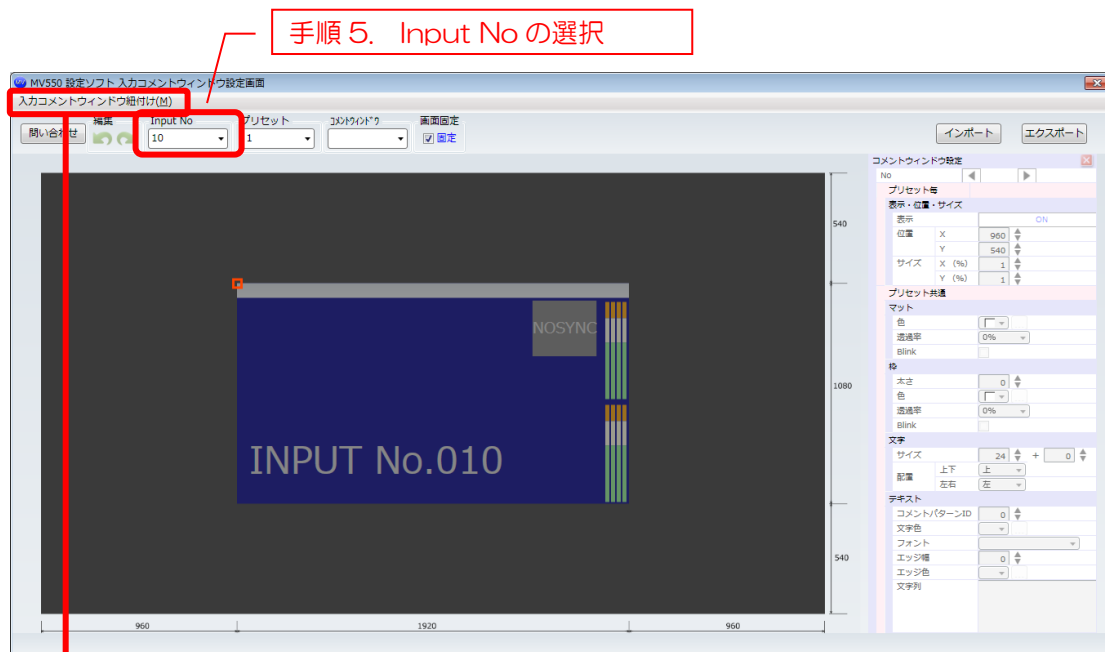


手順5. 「Input No」項目で「10」を選択します。

手順6. ツールバーの「入力コメントウィンドウ紐付け」をクリックし、
入力コメントウィンドウ紐付け画面を表示させます。

手順7. 「ID 003」の「Input No」を「10」に設定します。

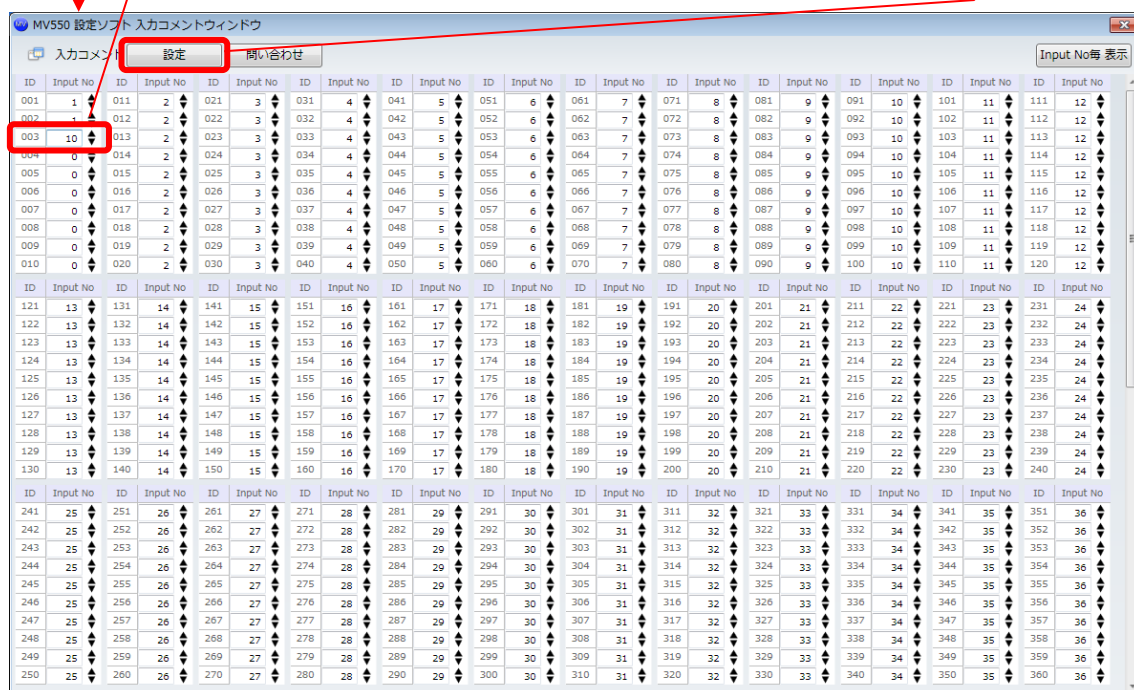
手順8. 設定ボタンをクリックし、設定完了後入力コメントウィンドウ紐付け画面を閉じます。



手順 6. 入力コメントウィンドウ紐付け設定画面の表示

手順7. 入力コメントウィンドウ紐付け設定

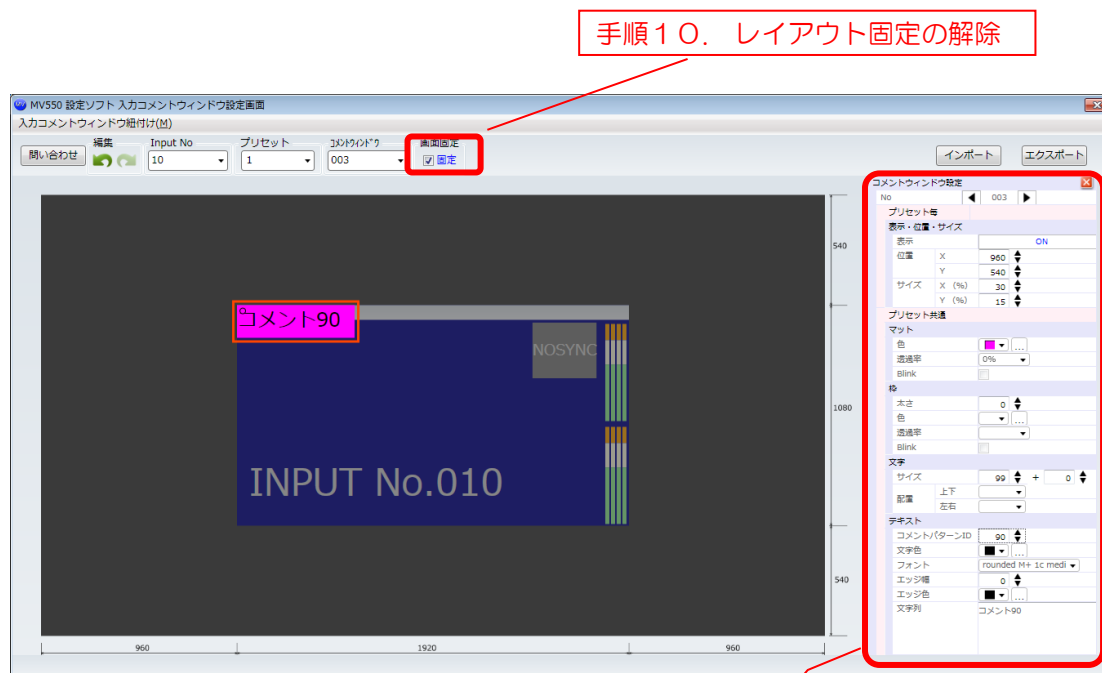
手順8. MV-550 へ設定



手順9. 「Input No」項目で「10」を選択し、「コメントウィンドウ」項目に入力コメントウィンドウ紐付け設定で設定した「003」を選択します。

手順10. 「画面固定」項目により、レイアウトの固定を解除します。

手順11. 入力コメントウィンドウのレイアウトを設定します。
設定方法はコメントウィンドウイメージのマウスドラッグ又は画面右の入力コメントウィンドウの設定画面より行います。
設定が変更された時点で MV-550 に反映又は設定ソフトへ保存が行われます。



手順11. 入力コメントウィンドウの設定

・入力コメントウィンドウ設定の設定例

子画面の左上に入力コメントウィンドウを表示させるときの設定例を下記に示します。

「表示・位置・サイズ」項目

表示 : ON
 位置 X : 960
 位置 Y : 540
 サイズ X : 30
 サイズ Y : 15

「マット」項目

色 : マゼンダ
 透過率 : 0%
 B l i n k : チェック無し

「枠」項目

太さ : 0
 色 : 白
 透過率 : 0
 B l i n k : チェック無し

「文字」項目

サイズ : 99 + 0
 配置 上下 : 中央
 配置 左右 : 中央

「テキスト」項目

コメントパターンID : コメントパターンIDを指定できます。
 文字列 : コメントウィンドウに表示させる文字列を入力できます。

・入力コメントウィンドウの設定、インポート、エクスポート

入力コメントウィンドウの設定内容をCSVファイルとしてエクスポートすることが出来ます。保存したCSVファイルは、Excelなどのソフトウェアから内容を変更することが出来ます。また、インポートすることで、保存した設定内容を設定することが出来ます。インポート、エクスポートについては「9.3 入力コメントウィンドウ エクスポート/インポート」を参照ください。

15. エクスポートファイルの詳細

設定ソフトからエクスポートしたCSV形式のファイルの内容について説明します。

● MV_Comment_Layout.csv

「MV_Comment_Layout.csv」は出力コメントウィンドウのレイアウト情報が記載されています。
CSVファイル内のフォーマットはカンマ区切りで下記のようになっています。

layout no	comment no	hyouji	patern id	xpos	ypos	xsize	ysize	matt color	matt trans	frame size	frame color	frame trans	moji size	moji pos up down	moji pos left right	matt blink	frame blink	text blink	reserv1	reserv2	reserv3
1	1	10000000	1	0	0	200	100	64	1	2	1	1	24	2	2	0	0	0			
1	2	00010000	2	0	0	200	100	64	1	2	1	1	24	2	2	0	0	0			
~																					

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
layout no	レイアウト番号	1～8
comment no	コメントウィンドウNo	1～160
hyouji	コメントウィンドウの表示ON/OFF	表示ON：1 表示OFF：0 画面No “ABCDEFGH” の順番で設定する。 例) 画面A、画面Cのコメントウィンドウが 表示ONの場合 ” 10100000 ”
patern id	コメントウィンドウに紐付けさせる コメントパターンID	0～1000 0：文字無し
xpos	コメントウィンドウのX方向の位置	0～1919
ypos	コメントウィンドウのY方向の位置	0～1079
xsize	コメントウィンドウのX方向のサイズ	2～1920
ysize	コメントウィンドウのY方向のサイズ	2～270
matt color	マットの色	1～64 1：黒色 ～ 64：白色
matt trans	マットの透過率	1～5 1：0% 2：25% 3：50% 4：75% 5：100%
frame size	枠幅のサイズ	0～16
frame color	枠の色	1～64 1：黒色 ～ 64：白色
frame trans	枠の透過率	1～5 1：0% 2：25% 3：50% 4：75% 5：100%
moji size	文字のフォントサイズ	6～99
moji pos up down	文字の上下方向位置	1～3 1：上詰め 2：中央配置 3：下詰め
moji pos left right	文字の左右方向位置	1～3 1：左詰め 2：中央配置 3：右詰め
matt blink	マットのブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
frame blink	枠のブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
text blink	文字のブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
reserv1～3	Reserve	空白

- MV_Config.csv

「MV_Config.csv」は構成設定の情報が記載されています。

C S Vファイル内のフォーマットはカンマ区切りで下記のようにになっています。

gamen	kogamen max	monitor aspect	now Layout
A	12	0	3
B	12	0	1
～			

C S Vファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
gamen	画面番号	A～D
kogamen max	画面に表示させる最大子画面数	0～48
monitor aspect	出力モニタのアスペクト	0～1 0:「16:9」 1:「4:3」
now Layout	現在のレイアウト	1～8

- MV_InComment_Layout.csv

「MV_InComment_Layout.csv」は入力コメントウィンドウの位置・サイズ情報が記載されています。

C S Vファイル内のフォーマットはカンマ区切りで下記のようにになっています。

preset no	comment no	xpos	ypos	xsize	ysize
1	1	960	540	25	25
1	2	960	540	25	25
～					

C S Vファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
preset no	プリセット番号	1～4
comment no	入力コメントウィンドウ No	1～720
xpos	入力コメントウィンドウのX方向の位置	0～1919
ypos	入力コメントウィンドウのY方向の位置	0～1079
xsize	入力コメントウィンドウのX方向のサイズ	2～1920
ysize	入力コメントウィンドウのY方向のサイズ	2～270

● MV_InComment.csv

「MV_InComment.csv」は入力コメントウィンドウのレイアウト情報が記載されています。
CSVファイル内のフォーマットはカンマ区切りで下記のようになっています。

comment no	input no	hyouji	patern id	matt color	matt trans	frame size	frame color	frame trans	moji size	moji pos up down	moji pos left right	matt blink	frame blink	text blink	correction moji size
1	1	1001	1	64	1	2	1	1	48	2	2	0	0	0	0
2	1	0001	2	64	1	2	1	1	48	2	2	0	0	0	0
~															

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
comment no	入力コメントウィンドウ No	1～720
input no	入力チャンネル番号	1～48
hyouji	入力コメントウィンドウの表示ON/OFF	0：表示OFF 1：表示ON プリセット“1234”の順番で設定する。 例) プリセット1, 4の入力コメントウィンドウ が表示ONの場合 “1001”
patern id	入力コメントウィンドウに紐付けさせる コメントパターンID	0～1000 0：文字無し
matt color	マットの色	1～64 1：黒色 ～ 64：白色
matt trans	マットの透過率	1～5 1：0% 2：25% 3：50% 4：75% 5：100%
frame size	枠幅のサイズ	0～16
frame color	枠の色	1～64 1：黒色 ～ 64：白色
frame trans	枠の透過率	1～5 1：0% 2：25% 3：50% 4：75% 5：100%
moji size	文字のフォントサイズ	6～99
moji pos up down	文字の上下方向位置	1～3 1：上詰め 2：中央配置 3：下詰め
moji pos left right	文字の左右方向位置	1～3 1：左詰め 2：中央配置 3：右詰め
matt blink	マットのブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
frame blink	枠のブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
text blink	文字のブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
correction moji size	文字サイズ補正値	0～99

- MV_Insource_tbl.csv

「MV_Insource_tbl.csv」はチャンネル名称・ロゴ設定の情報が記載されています。
CSVファイル内のフォーマットはカンマ区切りで下記のようになっています。

input no	ch name	ch logo
1	チャンネル001	logo.bmp
2	チャンネル002	logo.bmp
～		

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
input no	入力チャンネル番号	1～48
ch name	子画面に表示させるチャンネル名称	
ch logo	子画面に表示させるチャンネルロゴ画像	

- MV_Layout_GamenXX.csv

XX：画面No：A～D

「MV_Layout_GamenXX.csv」は各画面のレイアウト情報が記載されています。
CSVファイル内のフォーマットはカンマ区切りで下記のようになっています。

「GAMEN No」の項目では画面番号が記載されています。

GAMEN No
A

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
GAMEN No	画面番号	A～D

「Layout Kogamen Info」の項目では登録レイアウトごとの子画面のレイアウト情報が記載されています。

Layout Kogamen Info															
layout no	kogamen no	ch logo hyouji	ch name hyouji	aspect	sub aspect	waku mode	kogamen hyouji	kogamen xpos	kogamen ypos	kogamen xsize	kogamen ysize	input no	Reserve1	Reserve2	
1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	480	270	1	0	0	
1	2	1	1	0	0	1	1	480	0	480	270	2	0	0	
～															
audio bar pos	sub indicator L en	sub indicator L color	sub indicator L save	sub indicator R en	sub indicator R color	sub indicator R save	base color	base blink	base save	frame color	frame blink	frame save			
0	0	000	0	0	000	0	000	0	0	000	0	0			
0	0	000	0	0	000	0	000	0	0	000	0	0			
～															
indicator VideoCompare	indicator Freeze	indicator Black	indicator SoundCompare	indicator NonSound	indicator SoundsEtc	indicator Save	ch name logo pos	frame size	in comment en	in comment preset					
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1					
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1					
～															

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
layout no	レイアウト番号	1～8
kogamen no	子画面番号	1～48
ch logo hyouji	チャンネルロゴ表示ON/OFF	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
ch name hyouji	チャンネル名称表示ON/OFF	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
aspect	アスペクト設定	0～1 0：「16：9」 1：「4：3」
sub aspect	サブアスペクト設定	0～1 ・アスペクト設定が“0” 16：9の時 0：スクイーズ 1：サイドパネル付加 ・アスペクト設定が“1” 4：3の時 0：レターボックス 1：サイドカット
waku mode	枠モード設定	0～2 0：シンプル 1：ノーマル 2：フル(Video フル出力)
kogamen hyouji	子画面表示ON/OFF	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
kogamen xpos	子画面のX方向の位置	0～1919
kogamen ypos	子画面のY方向の位置	0～1079
kogamen xsize	子画面のX方向のサイズ	0～1919
kogamen ysize	子画面のY方向のサイズ	0～1079
input no	入力チャンネル番号	1～48
Reserve1～2	Reserve	0
audio bar pos	オーディオバー表示位置	0～4 0：右側に表示 1：左側に表示 2：左右に表示 3：左右(左：奇数Ch、右：偶数Ch)に表示 (ノーマルモード時のみ有効) 4：表示無し(フルモード時のみ有効)
sub indecater L en	サブインジケータ(左)表示ON/OFF	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
sub indecater L color	サブインジケータ(左)の色	0～3 0：0 1：85 2：170 3：255 “RGB”の順番で色を設定する。 例)色をR：0 G：170 B：255 と設定する場合 “023”
sub indecater L save	サブインジケータ(左)の設定値の保存	0～1 0：保存しない 1：保存する
sub indecater R en	サブインジケータ(右)表示ON/OFF 0：表示OFF 1：表示ON	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
sub indecater R color	サブインジケータ(右)の色	0～3 0：0 1：85 2：170 3：255 “RGB”の順番で色を設定する。

sub indicater R save	サブインジケータ（右）の設定値の保存 0：保存しない 1：保存する	0～1 0：保存しない 1：保存する
base color	ベースの色	0～3 0：0 1：85 2：170 3：255 “RGB”の順番で色を設定する。
base blink	ベースのブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
base save	ベースの設定値の保存	0～1 0：保存しない 1：保存する
frame color	枠の色	0～3 0：0 1：85 2：170 3：255 “RGB”の順番で色を設定する。
frame blink	枠のブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
frame save	枠の設定値の保存	0～1 0：保存しない 1：保存する
indicator VideoCompare	インジケータ映像比較	0
indicator Freeze	インジケータフリーズ	0
indicator Black	インジケータブラック	0
indicator SoundCompare	インジケータ音声比較	0
indicator NonSound	インジケータ無音	0
indicator SoundsEtc	インジケータ音声他	0
indicator Save	インジケータ保存	0
ch name logo pos	チャンネル名称・ロゴ表示位置	0～1 0：上部に表示 1：下部に表示
frame size	枠太さ	0～15 表示する枠の太さを 4dot 単位で太さを設定します。
in comment en	入力コメントウィンドウ表示ON/OFF	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
in comment preset	入力コメントウィンドウプリセット番号	1～4

「Layout Tokei Info」の項目ではレイアウトごとの時計のレイアウト情報が記載されています。

Layout Tokei Info												
layout no	tokei no	tokei kind	tokei hyouji	tokei xpos	tokei ypos	tokei size	digital back R	digital back G	digital back B	digital moji R	digital moji G	digital moji B
1	1	0	0	0	0	0						
1	2	0	1	0	0	0	1	1	1	255	255	255
～												

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
layout no	レイアウト番号	1～8
tokei no	時計の種類	1～2 1：アナログ時計 2：デジタル時計
tokei kind	時計の表示選択	0～1 0：LTC入力表示 1：MV内部時計表示
tokei hyouji	時計の表示ON/OFF	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
tokei xpos	X方向の位置	0～1919

tokei ypos	Y方向の位置	0～1079
tokei size	時計のサイズ	0～4 0：216×216（アナログ時計） ：216×108（デジタル時計＋カレンダー） 1：270×270（アナログ時計） ：270×135（デジタル時計＋カレンダー） 2：360×360（アナログ時計） ：360×180（デジタル時計＋カレンダー） 3：432×432（アナログ時計） ：432×216（デジタル時計＋カレンダー） 4：540×540（アナログ時計） ：540×270（デジタル時計＋カレンダー）
digital back R	デジタル時計の背景色R設定	1～255
digital back G	デジタル時計の背景色G設定	1～255
digital back B	デジタル時計の背景色B設定	1～255
digital moji R	デジタル時計の文字色R設定	1～255
digital moji G	デジタル時計の文字色G設定	1～255
digital moji B	デジタル時計の文字色B設定	1～255

「Layout Haikai Info」の項目ではレイアウトごとの背景設定の情報が記載されています。

Layout Haikai Info		
layout no	haikai hyouji	haikai name
1	1	haikai1.png
2	1	haikai2.png
～		

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
layout no	レイアウト番号	1～8
haikai hyouji	背景の表示ON/OFF	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
haikai name	背景に表示させる画像	

- MV550_Preset_Info.csv

「MV550_Preset_Info.csv」はプリセット登録の情報が記載されています。
プリセット番号ごとの各画面のレイアウト番号の情報が記載されています。

preset no	gamen A	gamen B	gamen C	gamen D	gamen E	gamen F	gamen G	gamen H
1	8	8	8	8	8	8	8	8
2	1	1	1	1	1	1	1	1
～								

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
preset no	プリセット登録番号	1～8
gamen A	画面Aのレイアウト番号	1～8
gamen B	画面Bのレイアウト番号	1～8
gamen C	画面Cのレイアウト番号	1～8
gamen D	画面Dのレイアウト番号	1～8
gamen E	画面Eのレイアウト番号	1～8（未使用）
gamen F	画面Fのレイアウト番号	1～8（未使用）
gamen G	画面Gのレイアウト番号	1～8（未使用）
gamen H	画面Hのレイアウト番号	1～8（未使用）

現在動作しているプリセット番号の情報が記載されています。

select preset no
1

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
select preset no	動作プリセット番号	1～8

- comment_patern.csv

「comment_patern.csv」はコメントウィンドウに表示させる文字情報が記載されています。
CSVファイル内のフォーマットはカンマ区切りで下記のようになっています。

id	moji	moji color	moji edge size	moji edge color	moji font	reserv1	reserv2	reserv3
1	コメント1	1	1	1	1			
2	コメント2	1	1	1	1			
～								

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
id	コメントウィンドウに紐付けさせる コメントパターンID	1～1000
moji	コメントウィンドウに表示させる文字列	半角128文字分を表示可能 (UTF-8コード)
moji color	文字色	1～64 1：黒色 ～ 64：白色
moji edge size	エッジサイズ	0～5
moji edge color	文字エッジ色	1～64 1：黒色 ～ 64：白色
moji font	文字フォント	1～5 1：rounded M+ 1c medium 2：IPAGothic 3：IPAMincho 4：rounded M+ 1c light 5：wlcmaru2004emoji
reserv1～3	Reserve	空白

- in_comment_win_layout.csv

「in_comment_win_layout.csv」は入力コメントウィンドウの位置・サイズ情報が記載されています。
CSVファイル内のフォーマットはカンマ区切りで下記のようになっています。

preset no	comment no	xpos	ypos	xsize	ysize
1	1	960	540	25	25
1	2	960	540	25	25
～					

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
preset no	プリセット番号	1～4
comment no	入力コメントウィンドウ No	1～720
xpos	入力コメントウィンドウのX方向の位置	0～1919
ypos	入力コメントウィンドウのY方向の位置	0～1079
xsize	入力コメントウィンドウのX方向のサイズ	2～1920
ysize	入力コメントウィンドウのY方向のサイズ	2～270

● in_comment_win.csv

「in_comment_win.csv」は入力コメントウィンドウのレイアウト情報が記載されています。
CSVファイル内のフォーマットはカンマ区切りで下記のようになっています。

comment no	input no	hyouji	patern id	matt color	matt trans	frame size	frame color	frame trans	moji size	moji pos up down	moji pos left right	matt blink	frame blink	text blink	correction moji size
1	1	1000	1	64	1	2	1	1	48	2	2	0	0	0	0
2	1	0001	2	64	1	2	1	1	48	2	2	0	0	0	0
~															

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
comment no	入力コメントウィンドウ No	1～720
input no	入力チャンネル番号	1～48
hyouji	入力コメントウィンドウの表示ON/OFF	0：表示OFF 1：表示ON プリセット“1234”の順番で設定する。 例) プリセット1, 4の入力コメントウィンドウ が表示ONの場合 “1001”
patern id	入力コメントウィンドウに紐付けさせる コメントパターンID	0～1000 0：文字無し
matt color	マットの色	1～64 1：黒色 ～ 64：白色
matt trans	マットの透過率	1～5 1：0% 2：25% 3：50% 4：75% 5：100%
frame size	枠幅のサイズ	0～16
frame color	枠の色	1～64 1：黒色 ～ 64：白色
frame trans	枠の透過率	1～5 1：0% 2：25% 3：50% 4：75% 5：100%
moji size	文字のフォントサイズ	6～99
moji pos up down	文字の上下方向位置	1～3 1：上詰め 2：中央配置 3：下詰め
moji pos left right	文字の左右方向位置	1～3 1：左詰め 2：中央配置 3：右詰め
matt blink	マットのブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
frame blink	枠のブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
text blink	文字のブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
correction moji size	文字サイズ補正値	0～99

● out_comment_win.csv

「out_comment_win.csv」は出力コメントウィンドウのレイアウト情報が記載されています。
CSVファイル内のフォーマットはカンマ区切りで下記のようにになっています。

layout no	comment no	hyouji	patern id	xpos	ypos	xsize	ysize	matt color	matt trans	frame size	frame color	frame trans	moji size	moji pos up down	moji pos left right	matt blink	frame blink	text blink
1	1	11111111	1	0	0	200	100	64	5	2	1	1	24	2	2	0	0	0
1	2	00000000	2	0	0	200	100	64	5	2	1	1	24	2	2	0	0	0
~																		

CSVファイル内の各項目の設定内容は以下の通りです。

項目	設定内容	設定範囲
layout no	レイアウト番号	1～8
comment no	コメントウィンドウNo	1～160
hyouji	コメントウィンドウの表示ON/OFF	表示ON：1 表示OFF：0 画面No “ABCDEFGH” の順番で設定する。 例) 画面A、画面Cのコメントウィンドウが 表示ONの場合 ”10100000”
patern id	コメントウィンドウに紐付けさせる コメントパターンID	0～1000 0：文字無し
xpos	コメントウィンドウのX方向の位置	0～1919
ypos	コメントウィンドウのY方向の位置	0～1079
xsize	コメントウィンドウのX方向のサイズ	2～1920
ysize	コメントウィンドウのY方向のサイズ	2～270
matt color	マットの色	1～64 1：黒色 ～ 64：白色
matt trans	マットの透過率	1～5 1：0% 2：25% 3：50% 4：75% 5：100%
frame size	枠幅のサイズ	0～16
frame color	枠の色	1～64 1：黒色 ～ 64：白色
frame trans	枠の透過率	1～5 1：0% 2：25% 3：50% 4：75% 5：100%
moji size	文字のフォントサイズ	6～99
moji pos up down	文字の上下方向位置	1～3 1：上詰め 2：中央配置 3：下詰め
moji pos left right	文字の左右方向位置	1～3 1：左詰め 2：中央配置 3：右詰め
matt blink	マットのブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
frame blink	枠のブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON
text blink	文字のブリンク表示	0～1 0：表示OFF 1：表示ON

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担 当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038